

平成27年度版

消 防 年 報

平成28年刊行 第41号

白山野々市広域消防本部

## 消 防 訓

われら消防職員は、使命の重要性を深く認識し、厳正な規律と士気の高揚につとめる。

われら消防職員は、強健な身体と不屈の精神を養い、誠実に職務の遂行につとめる。

われら消防職員は、知識をひろめ技術の習得に励み、あわせて豊かな教養を身につけるようつとめる。

われら消防職員は、互いに励まし助け合い、全体の協調融和につとめる。

われら消防職員は、消防人としての自覚と誇りをもって行動し、住民の期待と信頼にこたえるようつとめる。

昭和五十三年九月一日制定



消防章の輪郭を台地とし、当消防本部の1本部5署2分署を8の頂点で表した多角形で「白山野々市」の文字を囲むことで、地域の安全・安心を守るという意気込みを象徴するものです。

平成 5年 4月 1日制定  
平成17年 2月 1日改定  
平成23年11月11日改定

本書は、白山野々市広域事務組合の消防現勢及び平成27年度中における各種統計を収録し、将来に資することとともに、消防行政を紹介するために編集したものです。

なお、統計の内容は、災害統計に関する部分を除き、平成28年3月31日現在のものとなっています。

平成28年6月

白山野々市広域消防本部

# 目 次

## 消防現勢（平成28年4月1日現在）

### 地勢及び消防のあゆみ

位置及び地勢	1
組合消防のあゆみ	3

### 組織及び人員

組合消防概況図	16
組織機構図及び事務分掌	17
消防職員配置表、年齢別職員数	18
階級別職員数、勤続年数別職員数	19
消防職員の各種免許取得状況	20

### 消防の経費

平成28年度白山野々市広域事務組合歳入歳出予算額（当初）	21
歳入歳出予算額の構成、消防費予算性質別比較	22
消防費当初予算の推移	23

## 各種統計

### 火災統計

火災の概要、平成27年中の火災状況と前年比較	24
1日あたり及び1件あたりの火災状況	25
構成市別出火状況	26
時間・曜日・覚知・原因別出火件数	27
過去5年間の年別火災状況	28
過去5年間の構成市別出火状況	29
過去5年間の月別出火状況	30
過去5年間の時間別出火状況	31
覚知別出火状況、過去5年間の覚知別出火件数	32
過去5年間の原因別出火状況	33
消防事故の状況、構成市別	34

## 救急統計

救急活動概要、救急活動状況	35
過去5年間の救急活動概要	36
時間帯別出動件数、時間帯別搬送人員	37
出動先別救急状況	38
救急隊別救急活動状況、事故種別不搬送理由別不搬送件数	39
事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	40
事故種別医療機関別搬送人員	41
現場到着所要時間別出動件数、医療機関収容所要時間別搬送人員	42
曜日別月別出動件数、曜日別月別搬送人員	43
救急隊員の行った応急処置件数（その1）	44
救急隊員の行った応急処置件数（その2）	45
発生場所別搬送人員、各種救命講習実施状況	46
白山白川郷ホワイトロードにおける救急状況、北陸自動車道における救急状況	47

## 救助統計

平成27年中の救助状況と前年比較	48
構成市別救助状況	49
特別救助隊・災害対応救助隊	50

## 予防統計

火災予防運動	51
広報活動及び防火指導	52
防火・防災組織の現況	53
防火対象物の数	54
中高層建築物の現況	55
予防査察の数	56
建築同意事務処理状況	57
防火管理	58
各種届出受理状況	59
危険物規制	60

危険物施設数	61
危険物施設の規模及び種別	62
危険物施設許可・検査の状況、液体危険物タンクの完成検査前検査の状況	63
危険物施設の立入検査状況	64
<b>防災学習センター</b>	
利用状況	65
<b>通信指令</b>	
高機能消防指令センターの機能	66
無線局設置状況、119番着信件数	
口頭指導とバイスタンダー応急手当の状況	67
通信施設設置状況	68
高機能消防指令センター系統図	69
高機能消防指令センター機器一覧表	70
<b>機械装備</b>	
車両配置状況	72
消防機関の出動状況、消防車両等の出動状況	73
資器材一覧表	74
<b>水利</b>	
消防水利の状況	76
<b>消防音楽隊</b>	
消防音楽隊	77
活動状況	78

凡	例
1	文中及び各表の金額と比率は、原則として表示単位未満を四捨五入したものであり、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
2	各表中の符号の用法は、次のとおりである。 「－」… 該当数値のないもの、意味のないもの 「△」… 比較により減少したもの 「皆増」… 前年（度）に数値がなく増加したもの 「皆減」… 当年（度）に数値がなく減少したもの

# 地勢及び消防のあゆみ



## はく さん 白 山

古くから雪の「しらやま」や「越のしらね」の名で和歌にも詠まれた白山は、富士山、立山とともに日本三名山の一つに数えられ、標高2,702メートルの主峰「御前峰」からのご来光は、身も心もいやしてくれます。

また一方では、信仰の山としても知られ、養老元年（717年）に越前の僧泰澄がはじめて白山に登り、修行したのが登拝の始まりと伝えられています。

昭和37年には、国立公園に指定され、その環境のもと、ハクサンコザクラ、ミヤマクロユリほか多種の高山植物が自生し、ニホンカモシカやイヌワシが時折その姿を現してくれます。

## 位置及び地勢



本組合は、白山市と野々市市で組織され、石川県の南部域である通称「加賀地方」に位置しています。ここでは、日本三名山の一つに数えられる白山が見事な山容を見せ、この名山を源とする手取川が肥沃で広大な扇状地を形成し、「日本の渚百選」に選ばれた小舞子海岸のある日本海へ注いでいます。

白山市の北西部（白山市合併前の松任市、美川町及び鶴来町）と野々市市は、手取川扇状地にあり、加賀の穀倉地帯として知られる金沢平野の一部を形成しています。

また、この地域は野々市市の誕生や金沢外環状道路海側環線の開通により、住宅地の増加や商業施設の進出が目立ちます。

その他の地域（白山市合併前の河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村及び白峰村）は、白山の麓にあり、温泉や四季折々の豊かな自然に恵まれ、そこには多くの人達が観光や登山、そしてスキーを楽しみに訪れています。

交通機関としては、南北に国道157号と北陸鉄道石川線が走り、東西に国道8号と高速自動車国道北陸自動車道、そしてJR北陸本線が走っており、平成27年3月に開通した北陸新幹線の車両基地が、JR北陸本線沿線に整備されています。

また、白山の北側を岐阜県に通じる有料山岳ドライブウェイの白山白川郷ホワイトロードは、新緑の6月から紅葉の11月初めまでの開通期間に、多くの観光客に雄大な自然のパノラマを提供しています。



市章	白山市 (はくさんし)	野々市市 (ののいちし)
		
	<p>青空にそびえる緑豊かな白山を象徴として中央に配置、その麓に流れる3本の潮流は、上の1本が手取川、下の2本は日本海を表現しています。</p> <p>右上がりの楕円に包まれた造形は、豊かな自然に生まれ、未来へ発展しつづける白山市をあらわしています。</p>	<p>平仮名で”のの”を組み合わせ分銅を形成し、市の融和発展を象徴した簡潔清爽な意匠です。</p>

市別	面積(k㎡)	人口(人)	世帯数(世帯)	
合計	<b>768.49</b>	<b>164,177</b>	<b>64,542</b>	
計	<b>754.93</b>	<b>112,813</b>	<b>41,977</b>	
白山市	松任区域	※59.93	70,927	26,529
	鶴来区域	※35.64	22,770	8,276
	美川区域	※9.12	12,998	4,820
	河内区域	※74.42	1,037	396
	吉野谷区域	※142.89	1,039	427
	鳥越区域	※74.15	2,660	953
	尾口区域	※137.52	515	226
	白峰区域	※221.5	867	350
野々市市	<b>13.56</b>	<b>51,364</b>	<b>22,565</b>	

(平成28年3月末日現在 住民基本台帳)

※国土地理院発表により、平成27年3月に白山市の面積が755.17km<sup>2</sup>から754.93km<sup>2</sup>に変更となりましたが、各地域についての変更面積は未発表のため旧来の数値としています。

## 組合消防のあゆみ

松任市、美川町、鶴来町、野々市町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村及び白峰村の1市3町5村が、生活の多様化と高度化に伴い組織の広域化を図り、有機的な連携のもとに防災機能の飛躍的拡充を図るため「松任石川広域消防組合」を発足させた。

- 昭和50年 4月 1日 1市3町5村からなる広域消防の設立が石川県知事から許可され、松任石川広域消防組合を設立。初代消防長に間野四郎就任  
従来から常備体制をもっていた松任市に消防本部及び消防署を、美川町、鶴来町、野々市町及び吉野谷村に分署を、白峰村に分遣所をそれぞれ設け、消防長以下34人、事務局3人で発足。消防庁舎については、とりあえず仮庁舎とし、また、消防ポンプ自動車及び救急車は各市町村から譲渡され、消防業務を開始
- 4月 9日 消防職員19人を採用。それぞれの分署及び分遣所に配属し、事実上の分署開設
- 6月 1日 消防職員3人採用
- 9月 1日 消防職員3人を採用し、総員59人となる。
- 10月16日 超短波無線電話基地局5局（分署及び分遣所）及び移動局7局（美川1、鶴来2、野々市1、白山1、白峰2）を購入
- 11月28日 超短波無線電話移動局2局を購入（野々市、白山）

- 昭和51年 2月26日 東消式高発泡器を購入
- 4月 1日 消防職員9人採用
- 6月30日 消防職員1人退職
- 9月 1日 消防職員1人を採用し、総員68人となる。
- 10月 5日 消防庁から救急車1台が譲与され、美川分署に配置し、救急業務を開始
- 11月24日 水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、鶴来分署に配置
- 12月 7日 消防本部・消防署庁舎を総工費12,750万円で3月に着工。11月に完成し、12月7日から業務を開始。また、美川、鶴来、野々市、白山の各分署庁舎も12月に完成し、それぞれ新庁舎にて、業務を開始
- 12月 9日 超短波無線電話移動局2局（美川、鶴来）、携帯局5局（美川、鶴来、野々市、白山、白峰）を購入し、通信施設の増強を図る。

- 昭和52年 2月28日 消防庁から救急車1台が譲与され、野々市分署に配置。従来の救急車を消防本部の本部車とする。
- 3月 2日 ジェットシューター4台を購入し、鶴来分署、白山分署及び白峰分遣所に配置
- 3月12日 空気呼吸器（ライフゼム8型）5基を購入

- 4月 1日 消防職員10人を採用し、総員78人となる。
- 9月28日 消防ポンプ自動車1台を購入し、白山分署に配置
- 11月12日 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を購入し、消防署に配置  
超短波無線電話移動局3局購入（消防署2、野々市1）し、うち野々市分署の旧機を本部車に設置
- 12月20日 消防一斉指令装置（緊急電話集約機設備）を設置
- 12月22日 16ミリ映写機一式を購入

- 昭和53年 3月 2日 2B型救急車1台を購入。鶴来分署に配置し、旧車を廃車
- 3月31日 消防長 間野四郎 松任市へ帰任  
消防職員1人美川町へ帰任。職員1人退職
  - 4月 1日 消防長 金森 義 就任。また、新たに次長として組合事務局から1人出向  
消防職員4人を採用し、総員81人となる。
  - 9月 1日 職務遂行の指針として「消防訓」を制定
  - 11月 7日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入。消防署に配置し、旧水槽付消防ポンプ自動車を廃車  
超短波無線電話移動局1局を購入（消防署）

- 昭和54年 3月31日 次長は松任市に、消防職員1人は鶴来町へそれぞれ帰任
- 4月 1日 消防職員4人を採用し、総員83人となる。
  - 8月31日 消防職員1人退職
  - 9月20日 日本消防協会から2B型救急車1台が譲与され、消防署に配置。従来の救急車を救急予備車とする。  
また、小型動力ポンプ積載車を白山分署に配置  
消防職員1人退職
  - 10月26日 消防職員1人が病死し、総員80人となる。
  - 11月29日 消防ポンプ自動車1台を購入し、野々市分署に配置  
超短波無線電話移動局1局を購入（野々市）
  - 12月20日 白峰分遣所庁舎を総工費2,020万円で7月に着工。11月に完成し、12月20日から新庁舎にて業務を開始

- 昭和55年 3月31日 消防職員1人退職  
消防本部庁舎前に緊急出動用点滅装置を設置
- 4月 1日 消防職員10人を採用し、総員89人となる。
  - 10月 9日 超短波無線電話携帯局2局を購入（消防署）
  - 10月14日 北陸自動車道の美川インターチェンジ設置に伴い、高速道路救急業務を開始

(金沢西IC～小松IC間)

- 10月25日 消防職員1人退職
- 11月29日 消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置。従来の消防ポンプ自動車を福留分遣所に配置し、分遣所の車を消防ポンプ予備車とする。  
超短波無線電話移動局1局を購入（消防署）
- 12月 3日 消防庁から2B型救急車1台が譲与され、消防署に配置。従来の救急車を白峰分遣所へ配置替えし、分遣所の救急車を廃車

- 昭和56年 3月31日 消防長 金森 義 松任市へ帰任
- 4月 1日 松任石川地区環境衛生施設組合と松任石川広域消防組合を統合し、松任石川広域事務組合となる。  
消防長 林 政伍 就任  
消防職員1人松任市へ派遣。消防職員3人を採用し、総員90人となる。
- 11月 9日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入し、美川分署に配置  
消防ポンプ自動車1台を購入し、鶴来分署に配置  
超短波無線電話移動局2局を購入（美川、鶴来）

- 昭和57年 2月20日 超短波無線電話携帯局2局を購入（鶴来、白山）
- 4月 1日 消防職員6人を採用し、総員96人となる。
- 9月30日 消防職員1人退職  
松任市福留町にあった福留分遣所を廃止。同分遣所に配置の消防ポンプ自動車2台のうち1台を廃車し、予備車を千代野分署へ配置替えする。
- 10月 1日 松任市の駅西地区に千代野分署庁舎・松任市コミュニティ防災センター及び消防訓練場を総工費9,950万円で5月15日に着工し、9月30日に完成。職員6人と新しく購入した消防ポンプ自動車1台を配置し、業務を開始  
超短波無線電話移動局1局を購入（千代野）
- 10月19日 日本防火協会から防火広報車の贈呈を受け、消防署に配置し、超短波無線電話移動局を設置（鶴来）
- 10月28日 超短波無線電話携帯局2局を購入（美川、野々市）
- 12月 1日 消防職員1人を採用し、総員96人となる。
- 12月20日 消防ポンプ自動車1台を購入。美川分署に配置し、旧車を廃車

- 昭和58年 3月31日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車  
超短波無線電話携帯局1局を購入（消防署）  
消防長 林 政伍 松任市へ帰任
- 4月 1日 消防長 浜野茂松 就任

	消防職員1人鶴来町へ帰任、1人松任市へ派遣、9人を採用し、総員103人となる。
11月28日	野々市分署庁舎の車庫増床及び改修工事を総工費1,900万円で8月18日に着工し、11月28日に完成 屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）1台を購入し、野々市分署に配置 超短波無線電話移動局1局を購入（野々市）
昭和59年 2月16日	超短波無線電話携帯局2局を購入（消防署）
4月 1日	5ヵ年整備計画に基づき、消防署の組織機構の改正を行い、消防署を松任消防署に改名。鶴来分署を白山郷消防署に昇格し、1本部2署4分署1分遣所となる。 消防音楽隊を27人編成で発隊 消防職員1人を中央清掃センターへ出向させ、7人を採用し、総員109人となる。
8月23日	日本消防協会から2B型救急車1台の贈呈を受け、松任消防署に配置
9月 3日	超短波無線電話携帯局1局を購入（白山郷）
9月10日	白山郷消防署庁舎改修工事を総工費1,045万円で6月12日に着工し、9月10日に完成
9月30日	消防職員1人退職。消防職員1人を採用し、総員109人となる。
10月26日	日本損害保険協会から救助工作車の贈呈を受け、千代野分署に配置
11月12日	超短波無線電話移動局1局を購入（松任）
12月21日	消防指令車1台を購入し、白山郷消防署に配置 超短波無線電話移動局2局を購入（松任、白山郷）
昭和60年 3月31日	消防長 浜野茂松 松任市へ帰任
4月 1日	消防長 福島正美 就任 消防職員4人を採用し、総員113人となる。
5月20日	松任消防署配備のはしご付消防ポンプ自動車（30m級）の分解整備を5月20日に着手し、9月18日に完了
10月 2日	美川分署の庁舎改修工事を総工費948万円で6月26日に着工し、10月2日に完成
12月25日	2B型救急車1台を国庫補助で購入。白山分署に配置し、旧車を廃車
昭和61年 4月 1日	消防職員4人を採用し、総員117人となる。
5月 9日	予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車
5月27日	消防職員1人退職
10月15日	白山分署の庁舎改修工事及び美川分署ホース乾燥柱設置工事を総工費1,530万円で6月24日に着工し、10月15日に完成
昭和62年 2月18日	2B型救急車1台を消防庁から譲与。1台を県費補助で購入し、美川分署及び野々市

	分署に配置し、旧車を廃車
2月27日	消防ポンプ自動車1台を購入。白峰分遣所に配置し、旧車を廃車
3月31日	消防職員3人退職
4月 1日	消防職員5人を採用
7月20日	超短波無線電話携帯局1局を購入（白峰）
10月 1日	消防職員1人を組合事務局へ出向させ、総員117人となる。
11月30日	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車1台を購入。白山郷消防署に配置し、旧水槽車を廃車
12月10日	千代野分署配備の消防ポンプ予備車を廃車
昭和63年	3月31日 消防長 福島 正美 松任市へ帰任 消防職員2人退職
4月 1日	消防長 出村義治 就任 松任市から派遣職員1人、消防職員1人を採用し、総員117人となる。
11月29日	超短波無線電話携帯局1局を購入（野々市）し、旧機を消防本部に配置
12月 2日	消防職員1人退職
12月12日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型1台を国庫補助で購入。野々市分署に配置し、旧水槽車を廃車 2B型救急車1台を消防庁から譲与。白山郷消防署に配置し、旧車を廃車
12月20日	超短波無線電話基地局1局を購入（松任）し、旧機を予防2号車に設置
平成元年	4月 1日 事務局への出向職員1人帰任。消防職員3人を採用し、総員120人となる。
4月30日	消防職員2人退職
6月27日	機材車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車
12月25日	2B型救急車1台を消防庁から譲与。白峰分遣所に配置し、旧車を廃車
平成 2年	1月 1日 消防職員1人採用
3月31日	消防職員2人退職
4月 1日	消防職員4人を採用し、総員121人となる。
7月10日	本部指令車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車
9月 3日	消防職員1人が交通事故死し、総員120人となる。
平成 3年	3月19日 消防ポンプ自動車1台を購入し、松任消防署に配置
3月31日	消防長 出村義治 松任市へ帰任 松任市からの派遣職員1人松任市へ帰任
4月 1日	消防長 佐々木成功 就任

	消防職員4人を採用し、総員123人となる。
8月24日	野々市分署配備の屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）の分解整備を4月15日に着手し、8月24日に完了
11月18日	救急車1台を購入。松任消防署に配置し、旧救急1号車を廃車
平成 4年 3月31日	消防長 佐々木成功 松任市へ帰任 消防職員2人退職
4月 1日	消防長 長田信二郎 就任 消防署の組織機構の改正を行い、野々市分署を野々市消防署に昇格し、1本部3署3分署1分遣所となる。 消防職員5人を採用し、総員125人となる。
4月30日	消防職員1人退職
6月 1日	予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車
7月 4日	消防本部高圧受電設備を設置
9月10日	松任消防署配置のはしご付消防ポンプ自動車（30m級）の分解整備（2回目）を、4月13日に着手し、9月10日に完了
9月30日	超短波無線電話携帯局2局を購入（千代野、白山）
12月16日	消防ポンプ自動車1台を購入。白山分署に配置し、旧車を廃車
平成 5年 3月31日	消防職員1人退職
4月 1日	消防職員11人を採用し、総員134人となる。 消防本部シンボルマークを制定
4月26日	予防査察車1台を購入し、消防本部に配置
7月30日	消防指令車1台を購入し、野々市消防署に配置 日本防火協会から防火広報車の贈呈を受け、松任消防署に配置し、旧車を廃車
9月30日	消防職員2人退職
10月21日	高規格救急自動車1台を国庫補助で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車 超短波無線電話携帯局2局を購入（松任、野々市）
11月 1日	救急救命士による救急業務を開始
11月10日	消防職員1人退職
平成 6年 1月28日	消防ポンプ自動車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車
3月31日	消防職員2人退職
4月 1日	消防職員1人松任市へ派遣させ、9人を採用し、総員137人となる。
7月27日	消防指令車1台を購入。白山郷消防署に配置し、旧車を廃車
10月 9日	消防音楽隊発足10周年記念演奏会を松任市民会館で開催

- 10月19日 山岳救助機材車1台を購入。白山分署に配置し、小型動力ポンプ積載車を廃車  
超短波無線電話携帯局2局を購入（美川、白山郷）
- 11月18日 白峰分遣所庁舎を移転し、11月18日から新庁舎で業務を開始

- 平成 7年
- 1月18日 阪神・淡路大震災に石川県派遣隊として、10人派遣
  - 3月16日 消防職員1人退職
  - 3月31日 消防長 長田信二郎 退任  
消防職員2人退職
  - 4月 1日 消防長 関野一長 就任  
消防職員8人を採用し、総員142人となる。  
消防本部消防課に危険物係が新設される。  
消防音楽隊カラーガード隊が12人で発隊
  - 4月24日 消防職員1人退職
  - 4月30日 消防職員1人退職
  - 6月 2日 第19回婦人防火全国大会が松任総合運動公園文化体育館で開催される。
  - 10月18日 高規格救急自動車1台を購入。白山分署に配置し、旧車を廃車

- 平成 8年
- 1月 4日 超短波無線電話携帯局1局を購入（白峰）
  - 1月30日 消防ポンプ自動車2台を購入。白山郷消防署と美川分署に配置し、旧車を廃車
  - 3月28日 松任市から高規格救急自動車の交付を受け、松任消防署に配置
  - 3月31日 消防長 関野一長 松任市へ帰任  
消防職員1人退職
  - 4月 1日 消防長 辰田忠明 就任  
消防本部の組織機構を改正を行い、予防課（予防係、危険物係）を新設。消防  
課（警防係、救急救助係）と庶務課（庶務係）の3課体制となる。  
消防職員8人を採用し、総員147人となる。
  - 6月 5日 高規格救急自動車を美川分署に配置し、旧車を廃車
  - 6月17日 消防職員1人退職
  - 7月12日 水難救助隊が9人で発隊
  - 8月 8日 日本損害保険協会から、消防ポンプ自動車の贈呈を受け、千代野分署に配置
  - 8月31日 山岳救助隊が13人で発隊
  - 10月 1日 消防職員委員会が発足
  - 11月 1日 石川県消防防災航空隊に1人派遣
  - 11月11日 勝山市と消防相互応援協定を締結
  - 11月21日 消防ポンプ予備車を廃車
  - 12月16日 III型救助工作車1台を購入。千代野分署に配置し、旧車を廃車  
資機材搬送車1台を購入し、千代野分署に配置
  - 12月24日 特別救助隊が12人、化学救助隊が11人で発隊



平成 9年 1月 2日 タンカー「ナホトカ」重油流出事故に沿岸海域の重油回収のため職員を派遣  
 3月18日 高規格救急自動車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
 4月 1日 消防署の組織機構の改正を行い、美川分署を美川消防署に、白山分署を白山消防署に、白峰分遣所を白峰分署に昇格し、白山郷消防署を鶴来消防署に改称して、1本部5署2分署となる。  
 消防職員10人を採用し、総員156人となる。  
 4月28日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車  
 5月22・23日 第44回全国消防長会組合消防委員会が松任市で開催  
 7月 9日 消防指令車1台を購入し、美川消防署に配置  
 9月30日 消防職員1人退職  
 10月 7日 高規格救急自動車1台を購入。鶴来消防署に配置し、旧車を廃車  
 11月 5日 III型化学消防ポンプ自動車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
 12月17日 超短波無線電話携帯局2局を更新（本部、松任）

平成10年 3月31日 消防職員2人退職  
 4月 1日 消防職員11人を採用し、総員164人となる。  
 7月28日 消防指令車1台を購入し、白山消防署に配置  
 8月26日 野々市消防署配置の屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）の分解整備を4月13日に着手し、8月26日に完了  
 10月15日 第39回石川県防災総合訓練が松任市で開催  
 12月31日 消防職員1人退職

平成11年 1月20日 超短波無線電話携帯局2局を更新（松任、千代野）  
 1月31日 消防職員1人退職  
 2月 2日 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を国庫補助で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
 3月31日 消防長 辰田忠明 松任市へ帰任  
 4月 1日 消防長 松原仁司 就任  
 消防職員3人を採用し、総員165人となる。  
 4月28日 高規格救急自動車を1台購入。白峰分署に配置し、旧車を廃車  
 8月26日 II型化学消防ポンプ自動車1台を購入。美川消防署に配置し、旧車を廃車  
 9月30日 消防職員1人退職  
 11月29日 超短波無線電話携帯局2局を更新（鶴来、美川）

平成12年 2月 1日 野々市消防署庁舎を移転し、2月1日から新庁舎で業務を開始  
 3月11日 野々市消防署新庁舎竣工・松任石川広域消防25年及び消防音楽隊発足15周年・カラーガード隊発足5周年の記念演奏会を野々市町文化会館（フォルテ）で開催

3月31日 消防職員2人退職  
4月 1日 消防職員5人を採用し、総員167人となる。  
6月28日 消防指令車1台を購入し、白峰分署に配置  
10月19日 超短波無線電話携帯局2局を更新（松任、白山）

平成13年 3月31日 消防長 松原仁司 松任市へ帰任  
4月 1日 消防長 上田昭男 就任  
消防職員1人を松任市へ派遣し、松任市から派遣職員1人を受け入れる。  
消防職員3人を採用し、総員170人となる。  
10月15日 超短波無線電話基地局2局（鶴来、野々市）と携帯局2局（松任、野々市）を更新する。  
11月28日 消防職員1人退職

平成14年 3月31日 消防職員1人退職  
4月 1日 消防職員1人松任市から帰任し、松任市からの派遣職員1人松任市へ帰任する。  
消防職員4人を採用し、総員172人となる。  
9月20日 超短波無線電話基地局2局（美川、白峰）と携帯局2局（美川、白山）を更新する。  
10月 7日 消防職員1人退職

平成15年 1月21日 消防ポンプ自動車1台を購入。白峰分署に配置し、旧車を廃車  
1月31日 消防職員1人退職  
2月 4日 消防長 上田昭男 松任市へ帰任  
2月 5日 消防長 中山正吉 就任  
4月 1日 松任市から派遣職員1人を受け入れ、消防職員5人を採用し、総員175人となる。  
10月 6日 予防査察車1台の寄贈を受ける。  
10月28日 高規格救急自動車1台を国庫補助で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
10月30日 超短波無線電話基地局1局（白山）と携帯局2局（松任、鶴来）を更新する。  
11月13日 消防職員1名が病死し、総員174人となる。

平成16年 2月23日 水槽付消防ポンプ自動車1台を国庫補助で購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 中山正吉 退任・退職  
4月 1日 消防長 米山正昭 就任  
消防職員4人を採用し、総員178人となる。  
6月23日 消防指令車1台を購入。松任消防署に配置し、旧車を千代野分署連絡車として配置

7月13日 新潟・福島豪雨に石川県緊急消防援助隊として、5人派遣  
 7月18日 福井豪雨に石川県緊急消防援助隊として、5人派遣  
 9月30日 松任市からの派遣職員1人松任市へ帰任し、総員177人となる。  
 10月 1日 超短波無線電話携帯局1局（鶴来）を更新する。  
 10月24日 新潟県中越地震に石川県緊急消防援助隊として、10人派遣  
 11月13日 消防音楽隊発足20周年・カラーガード隊発足10周年の記念演奏会を白山市鶴来総合文化会館（クレイン）で開催する。  
 11月30日 消防本部車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車

平成17年 2月 1日 当組合加入市町村のうち、松任市、美川町、鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村の1市2町5村が合併して白山市となり、名称を「松任石川広域事務組合」から「白山石川広域事務組合」に、同じく消防本部名を「松任石川広域事務組合消防本部」から「白山石川広域消防本部」に改める。  
 4月 1日 消防本部の組織機構の改正を行い、消防課に情報通信係を新設し、救急救助係は救急係と改称する。  
 消防職員4人を採用し、総員181人となる。  
 8月 4日 消防指令車を購入。野々市消防署に配置し、旧車を千代野分署連絡車として配置  
 9月30日 消防職員1人退職  
 12月 8日 化学消防ポンプ自動車1台を国庫補助で購入。鶴来消防署に配置し、旧車を石川県消防学校に教育訓練用として寄附  
 12月20日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車

平成18年 3月24日 消防ポンプ自動車1台を県費補助（石油交付金）で購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
 4月 1日 消防職員4人を採用し、総員184人となる。  
 消防本部の組織機構の改正を行い、指揮隊を新設。松任消防署及び野々市消防署に配置し、運用開始  
 石川県消防防災航空隊に1人派遣  
 9月20日 警防車を購入。消防本部に配置し、旧車を野々市消防署連絡車として配置

平成19年 3月25日 能登半島地震に石川県消防広域応援隊として、7人派遣  
 3月30日 超短波無線電話携帯局2局を購入（指揮隊）  
 3月31日 消防職員4人退職  
 4月 1日 消防職員3人を採用し、総員183人となる。  
 消防本部の組織機構の改正を行い、消防庁舎整備室を新設  
 10月17日 超短波無線電話基地局1局（美川）を更新する。

平成20年 3月 3日 屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防職員2人退職  
4月 1日 消防職員3人を採用し、総員184人となる。  
6月30日 消防職員1人退職  
7月14日 消防指令車1台を購入。鶴来消防署に配置し、旧車を廃車  
8月19日 松任消防署配置のはしご付消防ポンプ自動車（30m級）の分解整備に着手し、平成21年3月30日に完了

平成21年 2月 5日 消防本部・松任消防署庁舎を移転建設するため三浦町にて起工式を行う。  
3月24日 消防ポンプ自動車1台を県費補助で購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 米山正昭 白山市へ帰任  
4月 1日 消防長 竹田由喜夫 就任  
職員定数を改正し、197人となる。  
消防職員7人を採用し、総員190人となる。  
11月 1日 消防音楽隊発足25周年・カラーガード隊発足15周年の記念演奏会を白山市鶴来総合文化会館（クレイン）で開催する。  
11月30日 高規格救急自動車1台を国庫補助で購入。美川消防署に配置し、旧車を松任救急2号車とする。旧松任救急2号車を廃車

平成22年 3月30日 消防ポンプ自動車1台を国庫補助で購入。白山消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防職員3人退職  
4月 1日 消防職員7人を採用し、総員194人となる。  
10月 5日 消防本部・松任消防署新庁舎が総工費30億3千万円で完成し、竣工式を行う。  
白山石川広域消防本部防災学習センターを新庁舎に併設し、運用開始  
消防本部の組織機構の改正を行い、通信指令課を新設し、指揮隊を廃止  
通信指令課に第1指令係及び第2指令係を置き、高機能消防指令システムを導入し、運用開始  
千代野救助工作車を松任消防署に配置し、松任救助工作車とする。  
11月25日 高規格救急自動車1台を購入。野々市消防署に配置し、旧車を廃車

平成23年 3月10日 予防査察車1台を購入。消防本部に配置し、旧車を廃車  
3月11日 東日本大震災に石川県緊急消防援助隊として、延べ40人を派遣  
3月31日 消防職員4人退職  
4月 1日 消防職員6人を採用し、総員196人となる。  
9月 1日 連絡車を野々市消防署に配置し、旧車を廃車

- 11月11日 当組合加入市町の石川郡野々市町が野々市市へ市制移行したことに伴い、名称を「白山石川広域事務組合」から「白山野々市広域事務組合」に、同じく消防本部名を「白山石川広域消防本部」から「白山野々市広域消防本部」に改める。
- 11月25日 II型救助工作車を国庫補助で購入。白山消防署に配置し、旧車の山岳機材車を廃車

- 平成24年 3月10日 高規格救急自動車を県費補助で購入。千代野分署に配置し、救急業務を開始
- 3月31日 消防長 竹田由喜夫 白山市へ帰任  
消防職員2人退職
- 4月 1日 消防長 西田恵一 就任  
職員定数を改正し、210人となる。  
消防職員2人を採用し、総員195人となる。  
消防本部の組織機構の改正を行い、庶務課に企画係を、消防課に装備係を、通信指令課に第1情報係及び第2情報係を置く。  
消防署の組織機構の改正を行い、消防署に第1消防係、第2消防係、第1予防係、第2予防係、第1救急係及び第2救急係を置き、松任消防署及び白山消防署に第1救助係及び第2救助係を置く。
- 4月26日 消防庁から指揮支援車が譲与され、消防本部に配置
- 10月23日 高規格救急自動車を購入。白山消防署に配置し、旧車を廃車
- 10月31日 消防職員1人退職
- 11月30日 消防音楽隊カラーガード隊を廃止

- 平成25年 3月31日 消防長 西田恵一 退任・退職  
消防職員5人退職
- 4月 1日 消防長 東 仁司 就任  
消防職員11人を採用し、総員199人となる。  
石川県消防防災航空隊に1人派遣
- 4月30日 消防職員2人退職
- 11月 2日 第54回石川県総合防災訓練が白山市で開催
- 11月12日 高規格救急自動車を購入。松任消防署に配置し、旧車を予備車、旧予備車を廃車

- 平成26年 3月28日 鶴来消防署新庁舎が総工費3億9千万円で完成し、竣工式を行う。
- 3月31日 消防職員4人退職
- 4月 1日 消防職員10人を採用し、総員203人となる。
- 8月 1日 消防ポンプ自動車を購入。白山消防署に配置し、旧車を鶴来消防署に配置、旧鶴来消防署消防ポンプ自動車を予備車として消防本部に配置

8月 1日 白山消防署配備の救助工作車を松任消防署に配置し、旧車を廃車  
11月30日 消防音楽隊発足30周年記念演奏会を白山市鶴来総合文化会館（クレイン）  
で開催する。  
12月 1日 白山消防署新庁舎が総工費4億5千万円で完成し、竣工式を行う。  
12月23日 美川消防署新庁舎が総工費4億9千万円で完成し、竣工式を行う。

平成27年 3月 3日 連絡車を白山消防署に配置し、旧車を白峰分署に配置  
3月18日 消防ポンプ自動車を県費補助で購入。千代野分署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 東 仁司 退任・退職  
消防職員3人退職  
4月 1日 消防長 畑 昌幸 就任  
消防職員4人を採用し、総員203人となる。  
4月22日 白峰分署高規格救急車を廃車  
4月30日 職員 1 名が退職し、総員202名となる。  
10月 1日 消防救急デジタル無線設備を総額7億9千万円で整備し、運用開始  
10月 9日 高規格救急車を国庫補助で購入。鶴来消防署に配置し、旧車を廃車  
12月10日 高規格救急車を購入。白峰分署に配置

平成28年 3月18日 水難機材車を購入。松任消防署に配置し、旧車を廃車  
3月31日 消防長 畑 昌幸 退任・退職  
消防職員4人退職  
4月 1日 消防長 畑 盛仁 就任  
消防職員9人を採用し、総員206人となる。  
無線中継車を白山消防署に配備

# 組織及び人員



組合長による点検



## 消防本部・松任消防署・防災学習センター

所在地 石川県白山市三浦町255番地1  
敷地面積 11,089m<sup>2</sup>  
延べ面積 6,356m<sup>2</sup> (他：訓練塔等1,015m<sup>2</sup>)  
建築年月 平成22年10月



訓練棟



指令センター



白山ホール



## 松任消防署 千代野分署

所在地 石川県白山市北安田町861番地1  
敷地面積 3,482m<sup>2</sup>  
延べ面積 432m<sup>2</sup>  
建築年月 昭和57年10月



## 野々市消防署

所在地 石川県野々市市本町五丁目83番地  
敷地面積 2,371m<sup>2</sup>  
延べ面積 818m<sup>2</sup> (他：訓練塔64m<sup>2</sup>)  
建築年月 平成12年3月



## 鶴来消防署

所在地 石川県白山市明島町山84番地1  
敷地面積 3,271m<sup>2</sup>  
延べ面積 920m<sup>2</sup>  
建築年月 平成26年3月



## 美川消防署

所在地 石川県白山市鹿島町140番地1  
敷地面積 2,837m<sup>2</sup>  
延べ面積 911m<sup>2</sup>  
建築年月 平成26年12月



## 白山消防署

所在地 石川県白山市吉野夏111番地1  
敷地面積 2,711m<sup>2</sup>  
延べ面積 950m<sup>2</sup>  
建築年月 平成26年12月

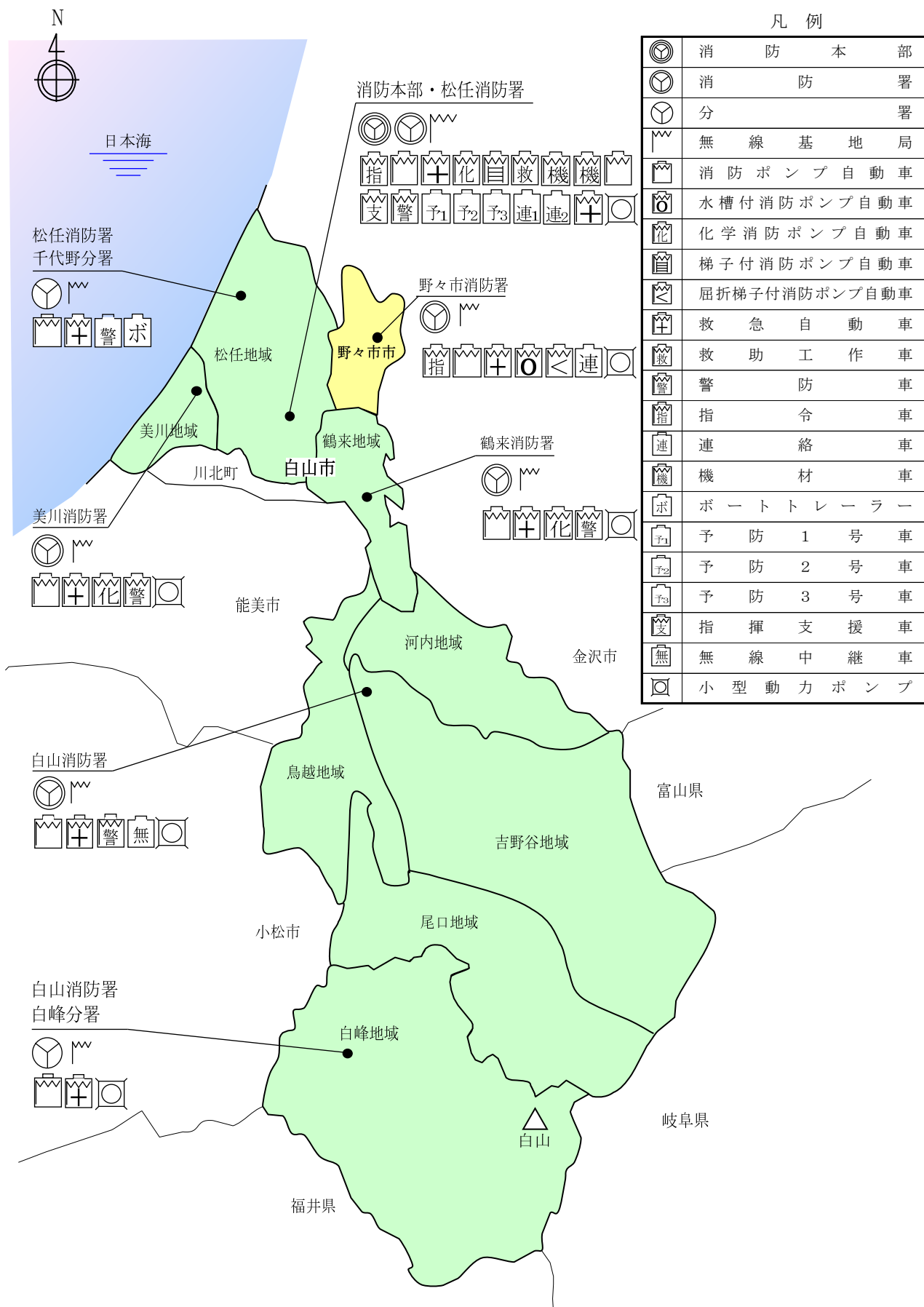


## 白山消防署 白峰分署

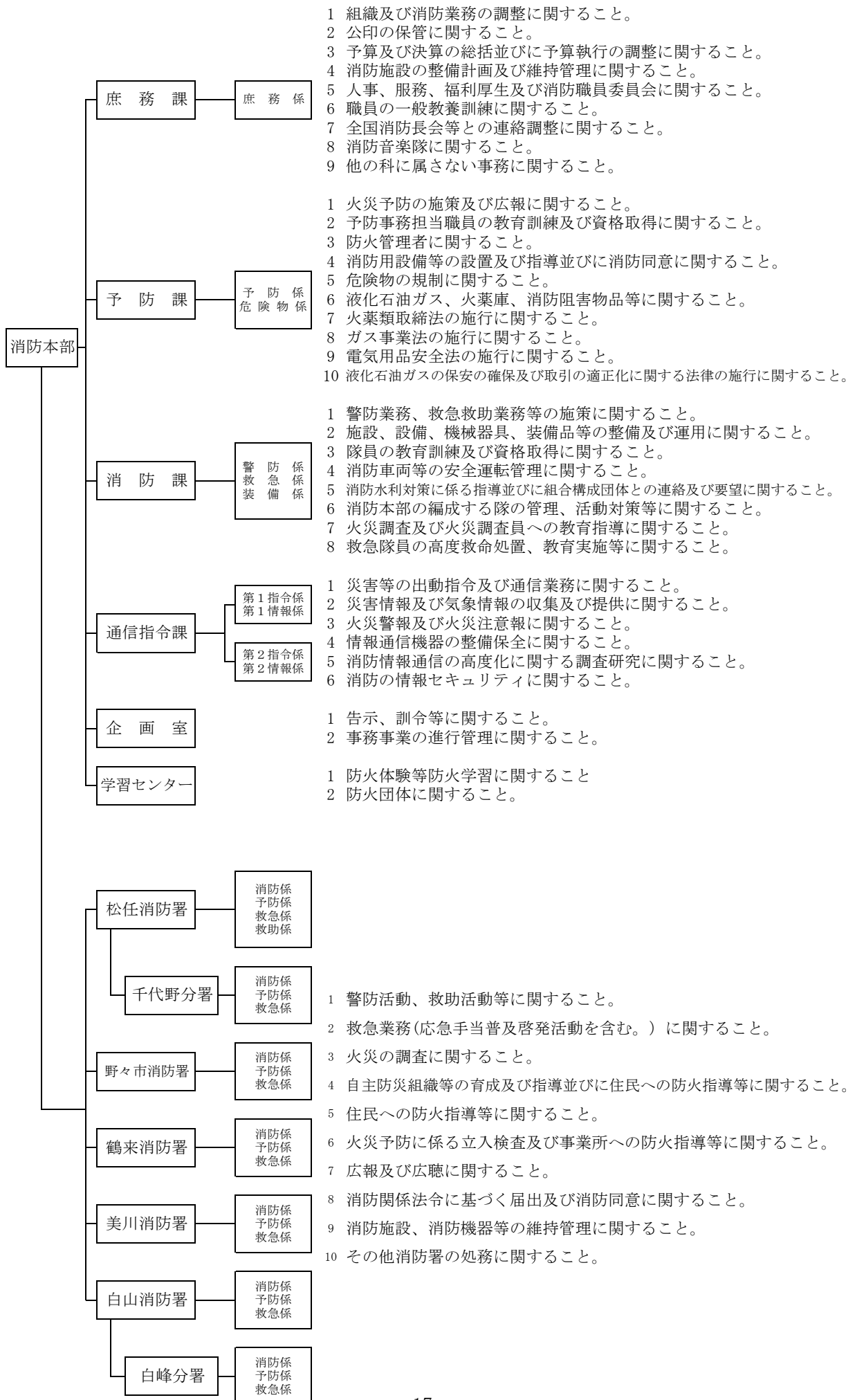
所在地 石川県白山市白峰ハ103番地3  
敷地面積 573m<sup>2</sup>  
延べ面積 151m<sup>2</sup>  
建築年月 平成6年11月



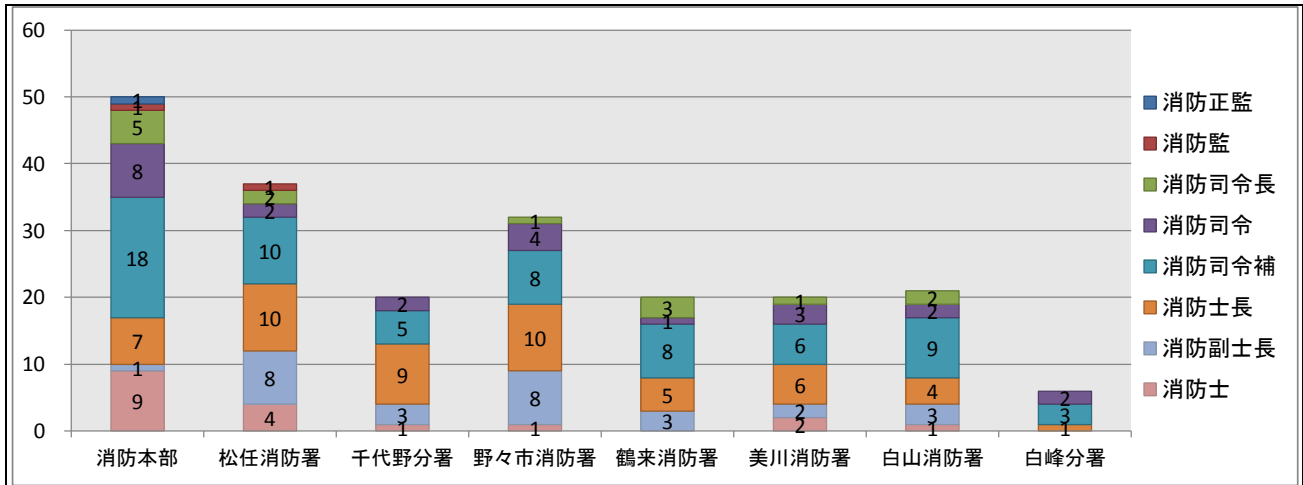
# 組合消防概況図



# 組織機構図及び事務分掌

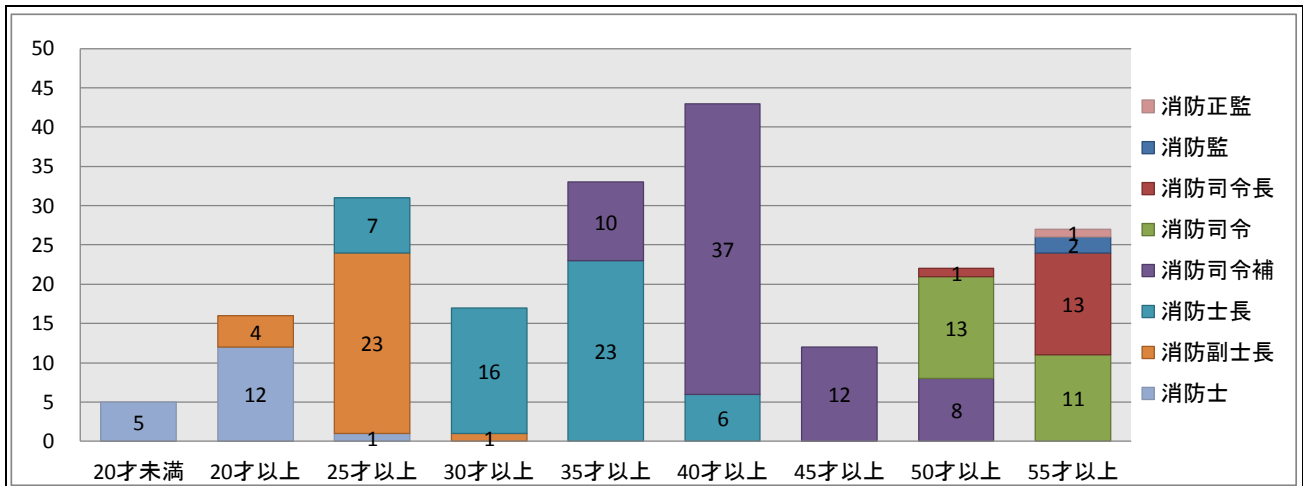


## 消防職員配置表



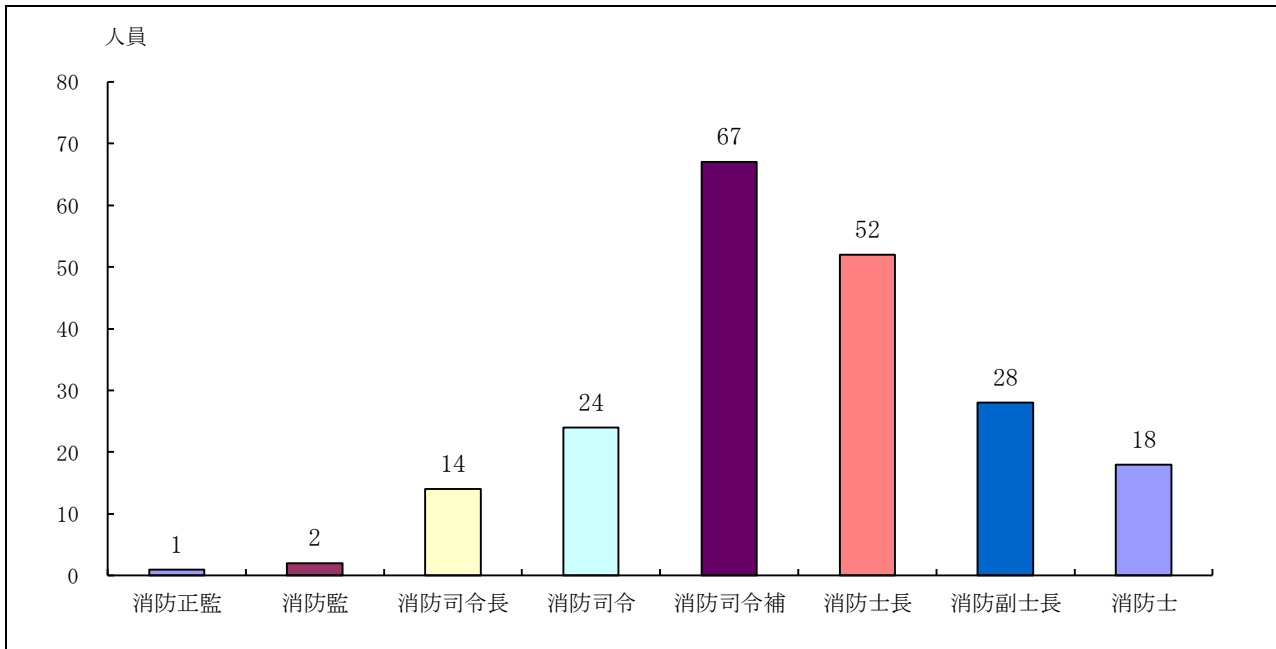
所属 \ 階級	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	206	1	2	14	24	67	52	28	18
消防本部	50	1	1	5	8	18	7	1	9
松任消防署	37		1	2	2	10	10	8	4
千代野分署	20				2	5	9	3	1
野々市消防署	32			1	4	8	10	8	1
鶴来消防署	20			3	1	8	5	3	
美川消防署	20			1	3	6	6	2	2
白山消防署	21			2	2	9	4	3	1
白峰分署	6				2	3	1		

## 年齢区分別職員数

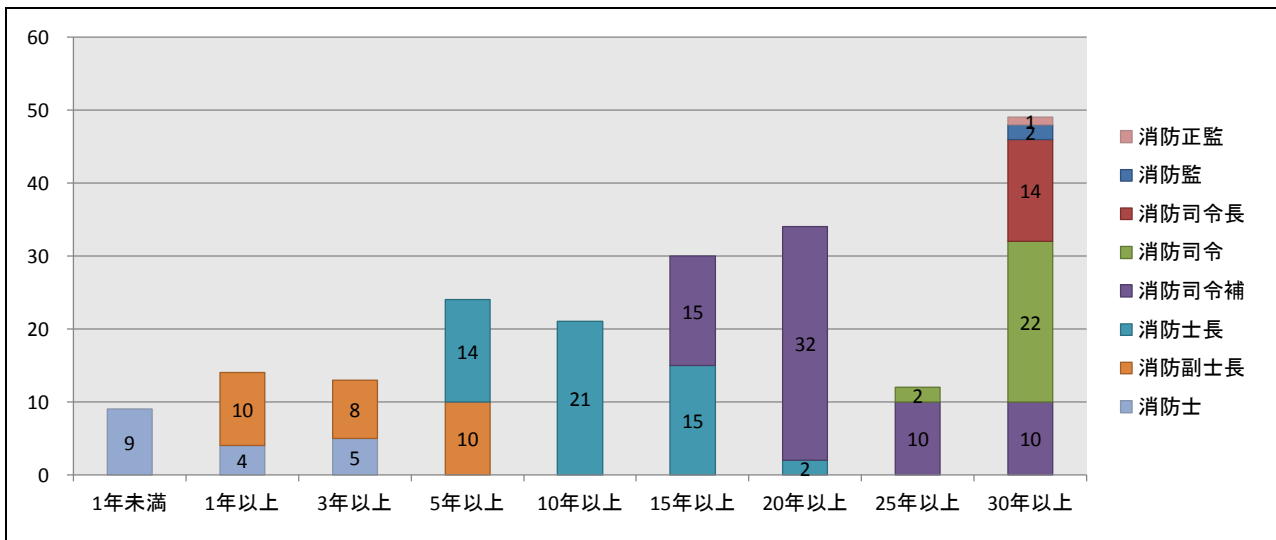


階級 \ 年齢	合計	20才未満	20才以上	25才以上	30才以上	35才以上	40才以上	45才以上	50才以上	55才以上
合計	206	5	16	31	17	33	43	12	22	27
消防正監	1									1
消防監	2									2
消防司令長	14								1	13
消防司令	24								13	11
消防司令補	67					10	37	12	8	
消防士長	52			7	16	23	6			
消防副士長	28		4	23	1					

## 階級別職員数



## 勤続年数別職員数



階級 \ 勤続年数	勤続年数									
	合計	1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
合計	206	9	14	13	24	21	30	34	12	49
消防正監	1									1
消防監	2									2
消防司令長	14									14
消防司令	24								2	22
消防司令補	67						15	32	10	10
消防士長	52				14	21	15	2		
消防副士長	28		10	8	10					
消防士	18	9	4	5						

# 消防職員の各種免許・資格取得状況

資格名		取得者
大型自動車(2種含)		145
中型自動車 (2種含)	11t	2
	8t	37
普通自動車(2種含)		27
自動車整備士	2級	1
小型船舶操縦士	1級	3
	2級	29
救急救命士		42
内気管挿管		30
内薬剤投与		29
内二処置		24
救急課程修了 (I・II課程含む)		144
准看護師		1
A E D 認定		120
救急関係資格		
P C E C		29
I T L S		36
A C L C		9
I C L S		8
M C L S		21
J P T E G		80
B L S O		3

資格名		取得者
危険物取扱者		
甲種		1
乙種	第1類	7
	第2類	8
	第3類	7
	第4類	134
	第5類	4
	第6類	5
丙種		64
消防設備士		
甲種	特類	1
	第1類	2
	第2類	1
	第4類	2
	第5類	1
乙種	第1類	4
	第4類	11
	第5類	1
	第6類	91
	第7類	3
防火対象物点検資格者		5
防災管理点検資格者		1
防災士		13
電気工事士		3

資格名		取得者
予防技術検定		
査察		15
設備		3
危険物		3
予防技術資格者		
査察		10
設備		9
危険物		7
特殊無線技士	多重・第1級陸上	1
	第2級陸上・乙	201
アマチュア無線技士		11
潜水士		34
小型移動式クレーン		46
玉掛		46
毒物劇物取扱者		2
ガス溶接技能		13
酸素欠乏・硫化水素		3
アーク溶接		2
河川急流救助		14
富山山岳遭難救助		17
ロープレスキュー		8
潜水技術2級		22
産業廃棄物監督責任者		7
第2種衛生管理者		1

# 消防の経費

## 平成28年度白山野々市広域事務組合歳入歳出予算額（当初）

歳入

(単位 千円)

款	項	金額
歳入合計		5,172,542
1 分担金及び負担金		2,678,230
	1 負担金	2,678,230
2 使用料及び手数料		221,288
	1 使用料	4,460
	2 手数料	216,828
3 国庫支出金		436,633
	1 国庫補助金	436,633
4 県支出金		0
	1 県補助金	0
5 財産収入		0
	1 財産運用収入	0
	2 財産売却収入	0
6 繰入金		0
	1 基金繰入金	0
7 繰越金		230,000
	1 繰越金	230,000
8 諸収入		171,891
	1 預金利子	200
	2 受託事業収入	5,513
	3 雑収入	166,178
9 組合債		1,434,500
	1 組合債	1,434,500

歳出

(単位 千円)

款	項	金額
歳出合計		5,172,542
1 議会費		1,517
	1 議会費	1,517
2 総務費		66,685
	1 組合管理費	66,406
	2 委員会費	279
3 衛生費		3,196,920
	1 保健衛生費	42,790
	2 ごみ処理費	3,063,404
	3 し尿処理費	90,726
4 消防費		1,862,255
	1 消防費	1,862,255
5 公債費		42,665
	1 公債費	42,665
6 予備費		2,500
	1 予備費	2,500

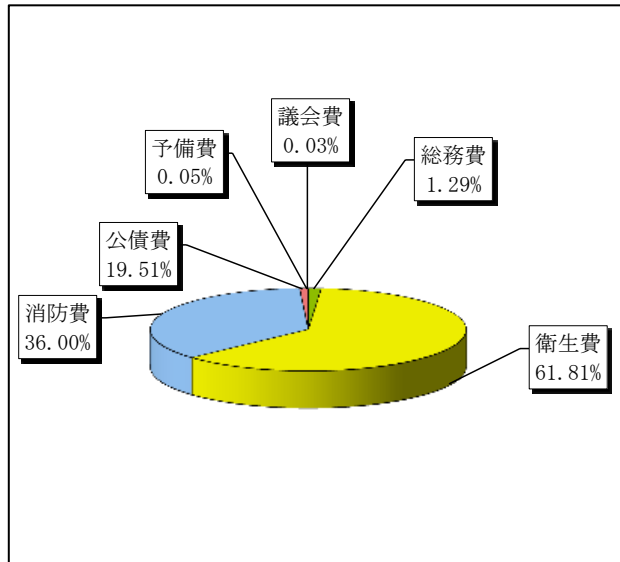
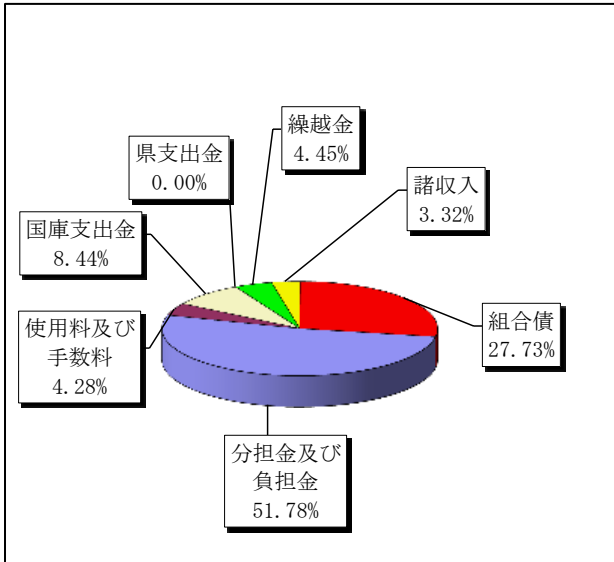
## 歳入歳出予算額の構成

歳入額比率

歳出額比率

歳入額 51億7254万2000円

歳出額 51億7254万2000円

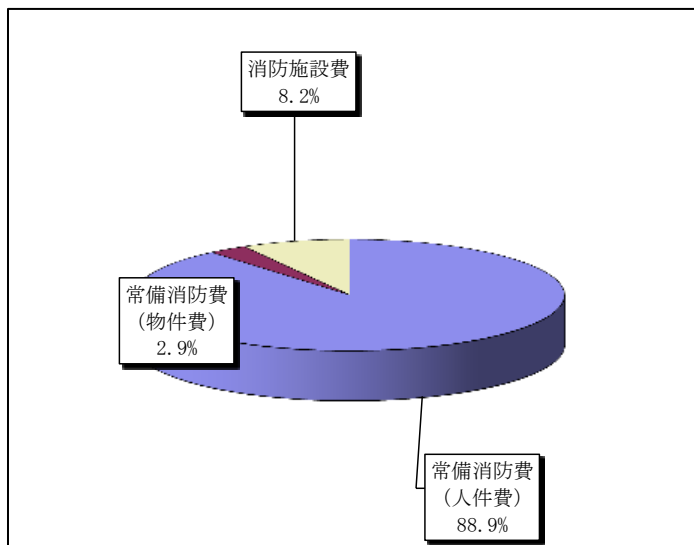


## 消防費予算性質別比較

(単位：千円)

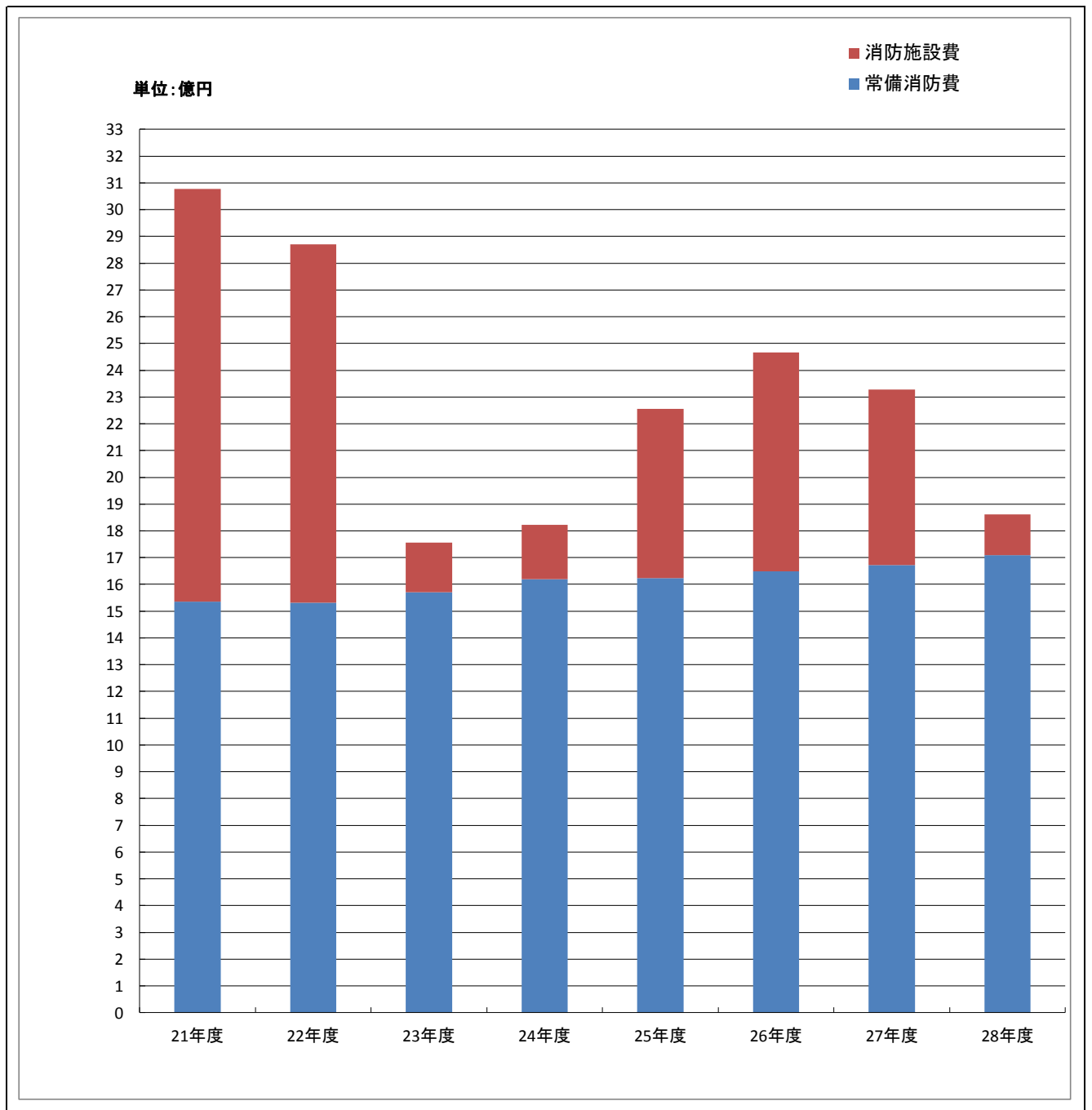
消防費	常備消防費				消防施設費	比率
	人件費	比率	物件費	比率		
1,862,255	1,655,065	88.9	54,904	2.9	152,286	8.2

消防費 18億6225万5000円





## 消防費当初予算の推移



歳出予算の推移（当初）

（単位：千円）

年度 歳出項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
消 防 費	3,076,770	2,870,710	1,755,327	1,822,082	2,255,997	2,466,171	2,327,043	1,862,255
常備消防費	1,536,144	1,531,400	1,571,248	1,620,426	1,624,066	1,649,000	1,672,459	1,709,969
消防施設費	1,540,626	1,339,310	184,079	201,656	631,931	817,171	654,584	152,286

# 火 災 統 計

## 火災の概要

平成27年中の火災の概要は、出火件数25件、損害額3,139万5,000円、死者0名、負傷者2名、建物焼損棟数22棟、建物焼損床面積859㎡、り災世帯数13世帯、り災人員30人となっている。（表1）

### 平成27年中の火災状況と前年比較

表1

区 分	単位	平成27年 (a)	平成26年 (b)	増 減 (a)-(b)=(c)	増減率 (c)/(b)×100%
出 火 件 数	件	25	31	△ 6	△ 19.4
建物火災		15	15		
林野火災					
車両火災		5	7	△ 2	△ 28.6
船舶火災					
航空機火災					
その他火災		5	9	△ 4	△ 44.4
建物焼損棟数	棟	22	26	△ 4	△ 15.4
全 焼		5	6	△ 1	△ 16.7
半 焼		1		1	皆増
部 分 焼		5	10	△ 5	△ 50.0
ば や		11	10	1	10.0
建物焼損床面積	㎡	859	1,752	△ 893	△ 51.0
建物焼損表面積	㎡	16	57	△ 41	△ 72.3
林野焼損面積	a				
車両焼損台数	台	6	10	△ 4	△ 40.0
死 者	人		7	△ 7	△ 100.0
負 傷 者	人	2	3	△ 1	△ 33.3
り 災 世 帯 数	世帯	14	41	△ 27	△ 65.9
全 損		2	21	△ 19	△ 90.5
半 損		1		1	皆増
小 損		11	20	△ 9	△ 45.0
り 災 人 員	人	31	93	△ 62	△ 66.7
損 害 額	千円	31,395	78,764	△ 47,369	△ 60.1
建物損害		30,535	78,192	△ 47,657	△ 60.9
林野損害					
車両損害		858	551	307	55.7
船舶損害					
航空機損害					
その他損害		2	21	△ 19	△ 90.5
爆発損害					
管内人口	人	164,472	163,451	1,021	0.6
※ 出火率	件	1.52	1.90	△ 0.38	—

※ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

## 1日当たり及び1件当たりの火災状況

平成27年中の火災は、約14.6日に1件の割合で発生し、1件当たり125万6千円の損害となっている。（表2）

表2

区 分		単位	平成27年	平成26年	増 減
全 火 災 1日あたり	出 火 件 数	件	0.07	0.08	△0.01
	損 害 額	千円	86	216	△ 130
	建 物 焼 損 棟 数	棟	0.06	0.07	△ 0.01
	建 物 焼 損 床 面 積	m <sup>2</sup>	2.35	4.80	△ 2.45
	建 物 焼 損 表 面 積	m <sup>2</sup>	0.04	0.16	△ 0.12
	林 野 焼 損 面 積	a			
	り 災 世 帯 数	世帯	0.04	0.11	△0.07
	り 災 人 員	人	0.08	0.25	△ 0.17
全火災1件あたりの損害額		千円	1,256	2,541	△ 1,285
建 物 火 災 1件あたり	損 害 額	千円	2,036	5,213	△ 3,177
	建 物 焼 損 棟 数	棟	1.47	1.73	△ 0.28
	建 物 焼 損 床 面 積	m <sup>2</sup>	57.26	116.80	△ 59.54
	建 物 焼 損 表 面 積	m <sup>2</sup>	1.05	3.80	△ 2.75
	り 災 世 帯 数	世帯	0.93	2.73	△ 1.80
	り 災 人 員	人	2.07	6.20	△ 4.13
住 民 1 人 あ た り の 損 害 額		円	191	482	△ 291
火 災 発 生 間 隔		日	14.60	11.77	2.83

## 構成市別出火状況

当組合の構成市別の出火件数及び損害額は、次のとおりである。(表3)

表3

区分	市町	合計	白 山 市								野々市市	
			計	松任区域	鶴来区域	美川区域	河内区域	吉野谷区域	鳥越区域	尾口区域		白峰区域
出火件数		25	14	8	3	2			1			11
出火件数	建物火災	15	7	2	3	2						8
	林野火災											
	車両火災	5	5	5								
	船舶火災											
	航空機火災											
	その他火災	5	2	1					1			3
火元棟	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	742	311	46	129	136						431
	焼損表面積(m <sup>2</sup> )	2										2
焼損棟数	全焼	5	4	1	1	2						1
	半焼	1	1		1							
	部分焼	5	3		2	1						2
	ぼや	11	4	1	1	2						7
	計	22	12	2	5	5						10
り災世帯数	全損	2	2	1	1							
	半損	1	1		1							
	小損	11	4	1	3							7
	計	14	7	2	5							7
り災人員		31	19	7	12							12
焼損面積	床面積(m <sup>2</sup> )	859	428	46	129	253						431
	表面積(m <sup>2</sup> )	16	11		7	4						5
	林野(a)											
焼損車両台数		6	5	5								1
死者												
負傷者		2	1						1			1
損害額(千円)	建物損害	30,535	21,335	3,176	13,177	4,982						9,200
	林野損害											
	車両損害	858	831	831								27
	船舶損害											
	航空機損害											
	その他損害	2										2
	爆発損害											
計	31,395	22,166	4,007	13,177	4,982						9,229	
1件平均損害額(千円)		1,256	1,583	501	4,392	2,491						839

時間・曜日・覚知・原因別出火件数

表 4

区 分		合 計	時 間 帯																								不 明
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
出 火 件 数		25			2				1	2	2	1		2	2			1	2	4		1	1	1	3		
火 災 種 別	建 物 火 災	15		2						2	1	1		1				1	2	3				1	1		
	林 野 火 災																										
	車 両 火 災	5						1						1	2							1					
	船 舶 火 災																										
	航 空 機 火 災																										
そ の 他 火 災	5									1									1			1		2			
曜 日 別	月 曜 日	3								1										2							
	火 曜 日	4											1	1					1					1			
	水 曜 日	5								1	1	1						1						1			
	木 曜 日	3																	1	1				1			
	金 曜 日	1						1																			
	土 曜 日	4		2													1						1				
	日 曜 日	4								1				1					1			1					
	不 明	1																						1			
覚 知 別	専用/固定から(加入除く)																										
	専用/固定から(加入)	3								1								1						1			
	専用/携帯から	12						1	1	2			2	1			1	3				1					
	加入/固定から																										
	加入/携帯から																										
	警 察 電 話	1																	1								
	駆 け 付 け																										
	事 後 聞 知	8		2									1			1				1				3			
	そ の 他	1																					1				
出 火 原 因	た ば こ	4								2								1	1								
	こ ん ろ	1																	1								
	焼 却 炉																										
	ス ト ー ブ	1									1																
	こ た つ																										
	排 気 管	2						1								1											
	電 気 機 器	2		1																1							
	内 燃 機 関	1														1											
	火 あ そ び	1																						1			
	溶接機・切断機	1										1															
	衝 突 の 火 花	1																				1					
	取 灰	1																						1			
	放 火																										
	放 火 の 疑 い	3																		1				2			
	そ の 他	2										1		1													
不 明	5		1												1					2		1					
合 計	25		2					1	2	2	1		2	2			1	2	4		1	1	1	3			

## 過去5年間の年別火災状況

表5

区 分	単位	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平 均
出 火 件 数	件	42	52	46	31	25	39.2
建物火災		24	35	19	15	15	21.6
林野火災				1			0.2
車両火災		8	7	9	7	5	7.2
船舶火災							
航空機火災							
その他火災		10	10	17	9	5	10.2
建物焼損棟数	棟	27	47	22	26	22	28.8
全焼		4	8	2	6	5	5.0
半焼		2	1	1		1	1.0
部分焼		8	15	7	10	5	9.0
ぼや		13	23	12	10	11	13.8
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	1,059	1,159	243	1,752	859	1,014.4
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	101	191	65	57	16	86.0
林野焼損面積	a			6			1.2
車両焼損台数	台	8	10	12	10	6	9.2
死者	人	2	2	1	7		2.4
負傷者	人	2	1	9	3	2	3.4
り災世帯数	世帯	14	27	10	41	14	21.2
全損		2	4	1	21	2	6.0
半損		1		1		1	0.6
小損		11	23	8	20	11	14.6
り災人員	人	46	62	30	93	31	52.4
損害額	千円	60,494	61,511	11,717	78,764	31,395	48,776.2
建物損害		58,991	59,851	10,088	78,192	30,535	47,531.4
林野損害							
車両損害		1,473	1,399	1,413	551	858	1,138.8
船舶損害							
航空機損害							
その他損害		30	261	93	21	2	81.4
爆発損害				123			24.6
管内人口	人	160,964	162,985	163,451	163,789	164,472	—
※ 出火率	件	2.61	3.19	2.81	1.89	1.52	—

※ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

## 過去5年間の構成市町別出火状況

表 6

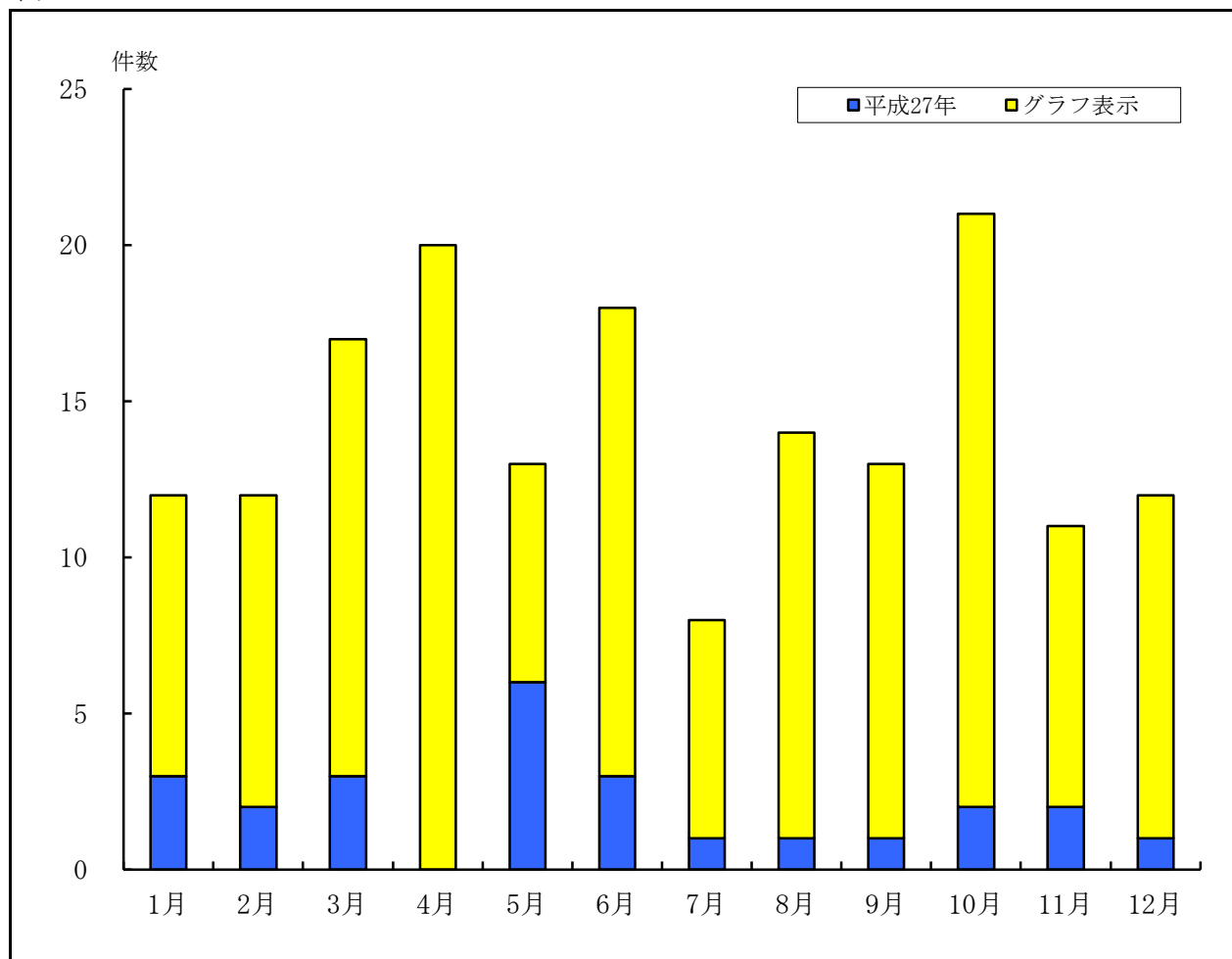
件 数( 件 )  
損害額(千円)

区 分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平 均
件数合計	42	52	46	31	25	39.2
損 害 額	60,494	61,511	11,717	78,764	31,395	48,776.2
白 山 市	30	33	32	21	14	26.0
	54,969	54,758	9,763	53,521	22,166	39,035.4
松任区域	17	19	23	11	8	15.6
	53,508	32,112	8,353	7,779	4,007	21,151.8
鶴来区域	4	7	4	4	3	4.4
	77	16,260	1,088	45,122	13,177	15,144.8
美川区域	6	6	3	4	2	4.2
	1,137	6,303	69	620	4,982	2,622.2
河内区域	1	1				0.4
	214	83				59.4
吉野谷区域	1		1			0.4
	27		3			6.0
鳥越区域	1			2	1	0.8
	6					1.2
尾口区域						
白峰区域			1			0.2
			250			50.0
野々市市	12	19	14	10	11	13.2
	5,525	6,753	1,954	25,243	9,229	9,740.8



## 過去5年間の月別出火状況

表7



年別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	25	3	2	3		6	3	1	1	1	2	2	1
平成26年	31	2	1	2	7	2		2	1	6	4	2	2
平成25年	46	1	6	9	4	3	6	3	5		3	2	4
平成24年	52	4	4	5	4	4	10	2	4	4	5	2	4
平成23年	42	5	1	1	5	4	2	1	4	3	9	5	2
計	171	12	12	17	20	13	18	8	14	13	21	11	12

## 過去5年間の時間別出火状況

表8

区分	合計	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
0～1	8	2	5	1		
1～2	4		2	1	1	
2～3	6		1		3	2
3～4	2	1	1			
4～5	5		1	3	1	
5～6	4		2	1	1	
6～7	5	2	1	2		
7～8	4	1		1	1	1
8～9	8	2	3	2	1	
9～10	13	1	1	6	3	2
10～11	11	1	5	1	2	2
11～12	7	3	1	1	1	1
12～13	8	2	1	3	2	
13～14	16	4	5	3	2	2
14～15	6	3	2		1	
15～16	13	3	3	3	2	2
16～17	11	4	4	3		
17～18	5	2	2			1
18～19	9	1	1	2	3	2
19～20	14	2	4	2	2	4
20～21	4	2		1	1	
21～22	8	2	3	2		1
22～23	2		1			1
23～24	3	1		1		1
不明	20	3	3	7	4	3
合計	196	42	52	46	31	25

## 覚知別出火状況

消防機関が火災をどのような方法によって覚知しているのかについてみると、火災報知専用電話（119番）による覚知は60%で、そのうち携帯電話による通報が全体の約半分となっている。（表9、表10）

表9

区 分	平成27年件数 (%)	平成26年件数 (%)
専用/固定から(加入除く)		1 (3.2)
専用/固定から(加入)	3 (12.0)	4 (12.9)
専用/携帯から	12 (48.0)	13 (41.9)
加入/固定から		
加入/携帯から		1 (3.2)
警察電話	1 (4.0)	1 (3.2)
駆け付け		
事後聞知	8 (32.0)	9 (29.0)
その他	1 (4.0)	2 (6.5)
合 計	25 (100)	31 (100)

※ 各区分のパーセントの合計は、四捨五入の関係上100パーセントにならないところがあります。

## 過去5年間の覚知別出火件数

表10

区 分	合 計	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
専用/固定から(加入除く)	8	1	5	1	1	
専用/固定から(加入)	27	5	8	7	4	3
専用/携帯から	72	17	14	16	13	12
加入/固定から	5	2	2	1		
加入/携帯から	5	1	3		1	
警察電話	2				1	1
駆け付け	1		1			
事後聞知	60	13	12	18	9	8
その他	16	3	7	3	2	1
合 計	196	42	52	46	31	25

## 過去5年間の原因別出火件数

平成27年中の原因別出火件数をみると、「たばこ」が4件、「放火の疑い」が3件、以下「排気管」「電気機器」が2件ずつとなっている。過去5年間の原因別出火件数では、「放火」と「放火の疑い」によるものが25件で第1位、「たばこ」が16件で第2位、「こんろ」「火あそび」「たき火」によるものが各14件で第3位となっている。

表11

区 分	合 計	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
たばこ	16		6	3	3	4
こんろ	14	4	5	2	2	1
かまど	1	1				
風呂かまど						
炉						
焼却炉	1	1				
ストーブ	5		2	1	1	1
こたつ						
ボイラー						
煙突・煙道						
排気管	11	3	1	4	1	2
電気機器	5	1	2			2
電気装置	3	1	1	1		
電灯・電話等の配線	3	1		2		
内燃機関	1					1
配線器具	9		3	2	4	
火あそび	14	3	3	6	1	1
マッチ・ライター	1			1		
たき火	14	4	2	3	5	
溶接機・切断機	7	1	1	2	2	1
灯火	1		1			
衝突の火花	3	1			1	1
取灰	2		1			1
火入れ	2		1	1		
放火	8	1	1	4	2	
放火の疑い	17	4	5	2	3	3
その他	37	11	11	9	4	2
不明	21	5	6	3	2	5
調査中						
合 計	196	42	52	46	31	25

## 消防事故の状況

### 平成27年中の消防事故件数

区 分	燃焼事故	破裂事故	漏洩事故	電気事故	発報事故	合 計
件 数	3		9		14	26

- (1)燃焼事故 焚き火の放置、火気設備及び機器の異常燃焼、煙突からの火の粉飛散等
- (2)破裂事故 破裂現象による物件損壊
- (3)漏洩事故 ガスの漏洩、危険物の漏出等
- (4)電気事故 電気機器又は配線のショート等
- (5)発報事故 誤報又は偽報

### 構成市町別

当組合を構成する市町別の消防事故の件数は、次のとおりである。

構成市町別	区 分					
	燃焼事故	破裂事故	漏洩事故	電気事故	発報事故	合 計
合 計	3		9		14	26
白 山 市	2		6		5	13
松 任 区 域	1		4		4	9
鶴 来 区 域			2			2
美 川 区 域						
河 内 区 域						
吉 野 谷 区 域	1					1
鳥 越 区 域					1	1
尾 口 区 域						
白 峰 区 域						
野々市市	1		3		9	13

# 救 急 統 計

## 救急活動概要

平成27年中の救急概要は、出動件数5,258件、搬送人員5,012人で、前年と比較してそれぞれ139件、101人の増加を示した。これは、1日平均14.4件で、1時間39分に1回の割合で救急車が出動し、管内住民32人に1人が救急車によって搬送されたことになる。

## 救急活動状況

別 区分	種 別	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	医	資	そ	
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	器	の	
			災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	送	送	材	輸	他
件 数	出 動	5,258	21		3	574	45	24	796	20	57	3,378	338				2
	搬 送	4,958	2			530	44	24	771	16	36	3,197	338				
	不搬送	300	19		3	44	1		25	4	21	181					2
搬 送 人 員	計	5,012	2			580	44	24	774	16	36	3,198	338				
	死 亡	91				4	1		6		7	72	1				
	重 症	586				25			117		9	347	88				
	中等症	2,057				95	24	5	246	7	12	1,456	212				
	軽 症	2,278	2			456	19	19	405	9	8	1,323	37				

過去5年間の救急活動概要

種 別		年				
		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動 件 数		4,735	4,902	4,986	5,119	5,258
搬 送 件 数		4,456	4,576	4,719	4,842	4,958
搬 送 人 員		4,524	4,673	4,785	4,911	5,012
事 故 種 別 救 急 出 動 件 数	火 災	2	5	7	24	21
	自然災害					
	水 難		6	1	3	3
	交 通	586	585	599	600	574
	労働災害	63	79	59	85	45
	運動競技	24	36	23	15	24
	一般負傷	729	726	722	818	796
	加 害	14	16	22	21	20
	自損行為	62	52	55	48	57
	急 病	2,924	3,017	3,121	3,120	3,378
	転院搬送	322	374	375	379	338
	医師搬送					
	資 器 材 等 輸 送		1			
	そ の 他	9	5	2	6	2
1日平均出動件数		13.0	13.4	13.7	14.0	14.4
管 内 人 口		160,964	162,985	163,451	163,789	164,472
人口1万人あたりの 救急出動件数		294	301	305	313	320



### 時間帯別出動件数

種別 時間	合計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 輸 機 材 等 送	そ の 他
総 数	5,258	21		3	574	45	24	796	20	57	3,378	338			2
0 ~ 2	224				15	1		24	3	3	171	7			
2 ~ 4	183				8			12		1	160	2			
4 ~ 6	187				10	1		21	2	3	149	1			
6 ~ 8	388	2		1	54	3	1	61	1	11	251	2			1
8 ~ 10	594	2			76	6	3	89		2	370	46			
10 ~ 12	632	4			53	10	7	106		8	360	84			
12 ~ 14	571	3		2	46	6	4	104	1	4	332	69			
14 ~ 16	568	1			75	8	5	110	1	3	316	49			
16 ~ 18	596	1			97	4	2	85	2	7	352	45			1
18 ~ 20	536	6			64	3		67	3	7	372	14			
20 ~ 22	462				43	2	2	73	3	6	319	14			
22 ~ 24	317	2			33	1		44	4	2	226	5			

### 時間帯別搬送人員

種別 時間	合計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	医 師 搬 送	資 輸 機 材 等 送	そ の 他
総 数	5,012	2			580	44	24	774	16	36	3,198	338			
0 ~ 2	224				19	1		22	3	3	169	7			
2 ~ 4	178				6			11		1	158	2			
4 ~ 6	183				11	1		21	2	3	144	1			
6 ~ 8	352				54	3	1	57		4	231	2			
8 ~ 10	574				75	6	3	89		1	354	46			
10 ~ 12	612	1			54	10	7	104		4	348	84			
12 ~ 14	546				49	6	4	102	1	1	314	69			
14 ~ 16	546				77	7	5	106		3	299	49			
16 ~ 18	560				96	4	2	83		5	325	45			
18 ~ 20	502	1			62	3		67	3	6	346	14			
20 ~ 22	430				41	2	2	70	3	3	295	14			
22 ~ 24	305				36	1		42	4	2	215	5			

## 出動先別救急活動状況

出動先		種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等送
総数	出動件数	5,258	21		3	574	45	24	796	20	57	3,378	338			
	搬送人員	5,012	2			580	44	24	774	16	36	3,198	338			
管内	出動件数	5,249	21		3	571	45	24	794	20	56	3,375	338			
	搬送人員	5,005	2			577	44	24	772	16	35	3,197	338			
その他町	出動件数	9				3			2		1	3				
	搬送人員	7				3			2		1	1				

白山市	出動件数	3,482	16		3	375	35	24	555	16	40	2,231	186			
	搬送人員	3,321	1			385	35	24	542	14	26	2,108	186			
松任区域	出動件数	2,215	8			274	22	16	316	10	26	1,436	106			
	搬送人員	2,125				286	22	16	308	8	17	1,362	106			
鶴来区域	出動件数	608	3		1	51	6	2	100	3	8	384	50			
	搬送人員	584				54	6	2	98	3	4	367	50			
美川区域	出動件数	375	2			28	5	4	56	2	4	252	22			
	搬送人員	344				22	5	4	55	2	3	231	22			
河内区域	出動件数	32				1			15			16				
	搬送人員	30							16			14				
吉野谷区域	出動件数	62	2			4			14		2	40				
	搬送人員	60	1			8			14		2	35				
鳥越区域	出動件数	66	1		2	7	1		18	1		36				
	搬送人員	63				7	1		18	1		36				
尾口区域	出動件数	31				8			10			13				
	搬送人員	27				7			9			11				
白峰区域	出動件数	93				2	1	2	26			54	8			
	搬送人員	88				1	1	2	24			52	8			
野々市市	出動件数	1,767	5			196	10		239	4	16	1,144	152			
	搬送人員	1,684	1			192	9		230	2	9	1,089	152			

### 救急隊別救急活動状況

種別 出動隊		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資輪器材等送
全救急隊	出動件数	5,258	21		3	574	45	24	796	20	57	3,378	338		
	搬送人員	5,012	2			580	44	24	774	16	36	3,198	338		
松任救急隊	出動件数	1,087	7			144	11	8	156	3	7	646	105		
	搬送人員	1,047				151	11	8	151	2	1	618	105		
千代野救急隊	出動件数	1,088	6			107	7	6	161	6	13	743	38		
	搬送人員	1,036				113	7	6	157	5	10	700	38		
鶴来救急隊	出動件数	587			1	61	3	1	94	1	11	363	52		
	搬送人員	564				61	3	1	93	1	9	344	52		
美川救急隊	出動件数	665	1			56	11	6	99	2	5	460	25		
	搬送人員	629				52	11	6	96	2	5	432	25		
白山救急隊	出動件数	187	3		2	13	1	1	55	1	3	108			
	搬送人員	176	1			15	1	1	55	1	2	100			
白峰救急隊	出動件数	97				8	1	1	27			52	8		
	搬送人員	93				8	1	1	24			51	8		
野々市救急隊	出動件数	1,547	4			185	11	1	204	7	18	1,006	110		
	搬送人員	1,467	1			180	10	1	198	5	9	953	110		

### 事故種別不搬送理由別不搬送件数

種別 不搬送理由		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資輪器材等送
緊急性なし		68	1		1	7			11	1	1	45			
傷病者なし		74	17			19	1		4	1	1	30			
拒否		52				14			3	1		34			
酩酊		3										3			
死亡		68			1	1			2		18	46			
現場処置		8							2		1	5			
誤報・悪戯		3	1							1		1			
その他		24			1	3			3			17			
合計		300	19		3	44	1		25	4	21	181			

事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員

種別 区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児	死亡												
	重症												
	中等症	1										1	
	軽症	1							1				
	計	2							1			1	
乳幼児	死亡	1										1	
	重症	2				2							
	中等症	39				1			8			28	2
	軽症	238				17			66			153	2
	計	280				20			74			182	4
少年	死亡												
	重症	4				2						1	1
	中等症	43				6		2	12			21	2
	軽症	167				46		10	40		1	67	3
	計	214				54		12	52		1	89	6
成人	死亡	20				2	1				4	13	
	重症	117				8			9		5	76	19
	中等症	625				56	23	3	49	6	10	387	91
	軽症	1,032	1			303	19	9	102	8	7	569	14
	計	1,794	1			369	43	12	160	14	26	1,045	124
老人	死亡	70				2			6		3	58	1
	重症	462				13			108		4	269	68
	中等症	1,350				32	1		177	1	2	1,020	117
	軽症	840	1			90			196	1		534	18
	計	2,722	1			137	1		487	2	9	1,881	204
合計	死亡	91				4	1		6		7	72	1
	重症	585				25			117		9	346	88
	中等症	2,058				95	24	5	246	7	12	1,457	212
	軽症	2,278	2			456	19	19	405	9	8	1,323	37
	計	5,012	2			580	44	24	774	16	36	3,198	338

## 事故種別医療機関別搬送人員

区分		種別	合 計		急 病		交 通		一般負傷		その他	
				うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急告示医療機関	※ 国 立	341	266	196	196	28	28	42	42	75		
	公 立	2,879	814	1,879	536	325	133	402	145	273		
	公 的	599	562	433	433	67	67	62	62	37		
	私 的 病 院	1,020	464	584	256	122	92	244	116	70		
	私 的 診 療 所	83	7	29	1	35	2	18	4	1		
	計	4,922	2,113	3,121	1,422	577	322	768	369	456		
その他の医療機関	※ 国 立											
	公 立	2	1	2	1							
	公 的											
	私 的 病 院	54	45	48	42	1	1	2	2	3		
	私 的 診 療 所	33	9	27	9	2		3		1		
	計	89	55	77	52	3	1	5	2	4		
計	※ 国 立	341	266	196	196	28	28	42	42	75		
	公 立	2,881	815	1,881	537	325	133	402	145	273		
	公 的	599	562	433	433	67	67	62	62	37		
	私 的 病 院	1,074	509	632	298	123	93	246	118	73		
	私 的 診 療 所	116	16	56	10	37	2	21	4	2		
	計	5,011	2,168	3,198	1,474	580	323	773	371	460		
その他の場所		1	1					1	1			
合 計		5,012	2,169	3,198	1,474	580	323	774	372	460		

※ 国立には旧国立病院（独立行政法人）を含む。

### 現場到着所要時間別出動件数

時間 種別	3分未満		3分以上 5分未満		5分以上 10分未満		10分以上 20分未満		20分以上		合 計	平均時間(分)
合 計	98		1,001		3,489		625		45		5,258	
急 病	56		629		2,296		376		21		3,378	6.6
交 通	12		70		375		110		7		574	7.4
一般負傷	11		155		523		91		16		796	7.2
そ の 他	19		147		295		48		1		510	5.9

### 医療機関収容所要時間別搬送人員

時間 種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合 計		平均 時間 (分)
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外	
合 計			122	19	1,461	436	3,209	1,833	211	143	9	5	5,012	2,436	
急 病			52	10	903	247	2,120	1,137	119	79	4	1	3,198	1,474	36.0
交 通			20	3	176	65	362	241	21	13	1	1	580	323	34.8
一般負傷			17	2	199	48	498	281	56	38	4	3	774	372	38.5
そ の 他			33	4	183	76	229	174	15	13			460	267	32.4

## 曜日別月別出動件数

種別 曜日/月	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等送	その他
月曜日	835	4			90	3	2	115	5	13	544	59			
火曜日	718	3			88	6	1	91		10	461	58			
水曜日	742	5			88	9	5	106	2	8	466	52			1
木曜日	691	3		1	75	11	1	99	2	5	446	48			
金曜日	759	2		1	89	9	1	104	4	7	490	52			
土曜日	767				74	4	2	135	4	4	499	44			1
日曜日	746	4		1	70	3	12	146	3	10	472	25			
合計	5,258	21		3	574	45	24	796	20	57	3,378	338			2
1月	457	3			34	4	3	72		3	305	33			
2月	387	1			35	2	1	53	3	8	251	33			
3月	425	3		1	51	5	3	68	3	4	255	32			
4月	439	2		2	42	2		78		5	276	32			
5月	454	4			52	5	4	76		6	278	28			1
6月	411	3			49	4	3	45		2	274	31			
7月	483	1			55	4	4	57	2	8	334	17			1
8月	465				46	3	1	79	6	5	305	20			
9月	415	1			46	7		58	1	6	275	21			
10月	414	1			55	5	4	75	2	4	247	21			
11月	428	2			53	2	1	61	2	4	271	32			
12月	480				56	2		74	1	2	307	38			

## 曜日別月別搬送人員

種別 曜日/月	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月曜日	783				90	3	2	107	4	9	509	59
火曜日	689				86	6	1	88		7	443	58
水曜日	708	1			89	9	5	106	2	6	438	52
木曜日	653				69	11	1	96	1	2	425	48
金曜日	726				97	8	1	103	2	4	459	52
土曜日	739				73	4	2	135	4	3	474	44
日曜日	714	1			76	3	12	139	3	5	450	25
合計	5,012	2			580	44	24	774	16	36	3,198	338
1月	429				30	3	3	68		2	290	33
2月	374				37	2	1	54	2	2	243	33
3月	401				51	5	3	67	1	3	239	32
4月	420				46	2		77		4	259	32
5月	425	1			57	5	4	72		3	255	28
6月	390				50	4	3	43		1	258	31
7月	457				50	4	4	54	2	6	320	17
8月	453				47	3	1	77	6	4	295	20
9月	403				51	7		58	1	6	259	21
10月	401				56	5	4	75	2	3	235	21
11月	408	1			53	2	1	60	1	2	256	32
12月	451				52	2		69	1		289	38

救急隊員の行った応急処置件数（その1）

種別	内容	対応 象急 人処 員置	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心マッサージ		心肺蘇生	酸 素 吸 入	気 道 確 保				
						うち 自動	うち 自動			※1 経 鼻	※2 喉 頭 鏡	※3 器 気 道 確 保 具	※4 気 管 挿 管	
急 病	死 亡	72		4	1			69	53	69	5		29	19
	重 症	345		3	7			23	168	45	1		12	4
	中等症	1,450	1	16	1			9	488	35	1		3	1
	軽 症	1,310	13	11					137	3				
	計	3,177	14	34	9			101	846	152	7		44	24
交 通 事 故	死 亡	4	1	3				3	3	4			2	
	重 症	24	4	18				1	11	2				
	中等症	95	5	67					35	1				
	軽 症	453	7	216					8					
	計	576	17	304				4	57	7			2	
一 般 負 傷	死 亡	6		1				6	5	6			1	5
	重 症	117	3	21	3			7	11	9		1	1	5
	中等症	246	16	52	3			4	30	11	1	3	1	1
	軽 症	403	45	79					12					
	計	772	64	153	6			17	58	26	1	4	3	11
上 記 以 外	死 亡	9		7	1			9	7	9	3		2	
	重 症	97		2	2			2	29	4			2	
	中等症	258	8	20	2			1	76	6			1	
	軽 症	92	6	13					7					
	計	456	14	42	5			12	119	19	3		5	
合 計	死 亡	91	1	15	2			87	68	88	8		34	24
	重 症	583	7	44	12			33	219	60	1	1	15	9
	中等症	2,049	30	155	6			14	629	53	2	3	5	2
	軽 症	2,258	71	319					164	3				
	計	4,981	109	533	20			134	1,080	204	11	4	54	35

※1は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数

※2は、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数

※3は、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数

※4は、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数



## 救急隊員の行った応急処置件数（その2）

種別	内容	保 温	被 覆	在宅療法継続			シ ョ ッ ク パ ン ツ	除 細 動	（静 脈 路 液 確 保	薬 剤 投 与	応 急 の 処 置	血 圧 測 定	聴 取	心 音 ・ 呼 吸 音 の 測 定	血 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	計
				※A 点 滴	※B 外 瘻	※C そ の 他											
急 病	死 亡	6		2		2		7	48	33		10	65	9	49	425	
	重 症	66		3	1	2		6	21	9		331	285	333	291	1591	
	中等症	285	11	10	1	9		5	30	3	1	1,424	1,196	1,438	1108	6061	
	軽 症	207	7						10		2	1,203	1,052	1,304	836	4785	
	その他																
	計	564	18	15	2	13		18	109	45	3	2,968	2,598	3,084	2284	12862	
交 通 事 故	死 亡	1	1						2	1		2	4	1	3	29	
	重 症	7	7						1			24	24	24	15	138	
	中等症	22	25									93	90	91	63	492	
	軽 症	39	65							1		430	386	443	129	1724	
	その他																
	計	69	98						3	2		549	504	559	210	2383	
一 般 負 傷	死 亡								4	3		1	6	1	4	37	
	重 症	26	5					1	6	4	1	111	76	111	51	446	
	中等症	43	44						2	2		238	185	243	116	989	
	軽 症	47	118									348	248	393	110	1400	
	その他																
	計	116	167					1	12	9	1	698	515	748	281	2872	
上 記 以 外	死 亡	1							7	7		1	8	1	6	64	
	重 症	16	2						2	2		90	64	94	61	370	
	中等症	63	18	1		1			2	1		247	161	254	119	979	
	軽 症	10	22									90	48	91	28	315	
	その他																
	計	90	42	1		1			11	10		428	281	440	214	1728	
合 計	死 亡	8	1	2		2		7	61	44		14	83	12	62	555	
	重 症	115	14	3	1	2		7	30	15	1	556	449	562	418	2545	
	中等症	413	98	11	1	10		5	34	6	1	2,002	1,632	2,026	1406	8521	
	軽 症	303	212						10	1	2	2,071	1,734	2,231	1103	8224	
	その他																
	計	839	325	16	2	14		19	135	66	4	4,643	3,898	4,831	2989	19845	

※Aは、在宅中心静脈栄養管理等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数

※Bは、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数

※Cは、※A・B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置等を行った件数

## 発生場所別搬送人員

種別	場所					
	合 計	住 宅	公衆出入場所	仕事場	道 路	その他
急 病	3,198	2,189	783	127	81	18
交 通	580	6	16	1	549	8
一般負傷	774	421	246	10	76	21
そ の 他	460	40	374	38	5	3
計	5,012	2,656	1,419	176	711	50

## 各種救命講習実施状況

年	普通救命講習会		上級救命講習会		応急手当普及員		合 計	
	回 数	修了者	回 数	修了者	回 数	修了者	回 数	修了者
平成27年	143	2,156	4	61	1	7	148	2,224
平成26年	149	2,351	3	45	3	39	155	2,435
平成25年	180	2,773	4	73	3	24	187	2,870
平成24年	128	2,264	5	57	2	29	135	2,350
平成23年まで	1,752	30,484	43	814	19	490	1,814	31,788
総 計	2,352	40,028	59	1,050	28	589	2,439	41,667

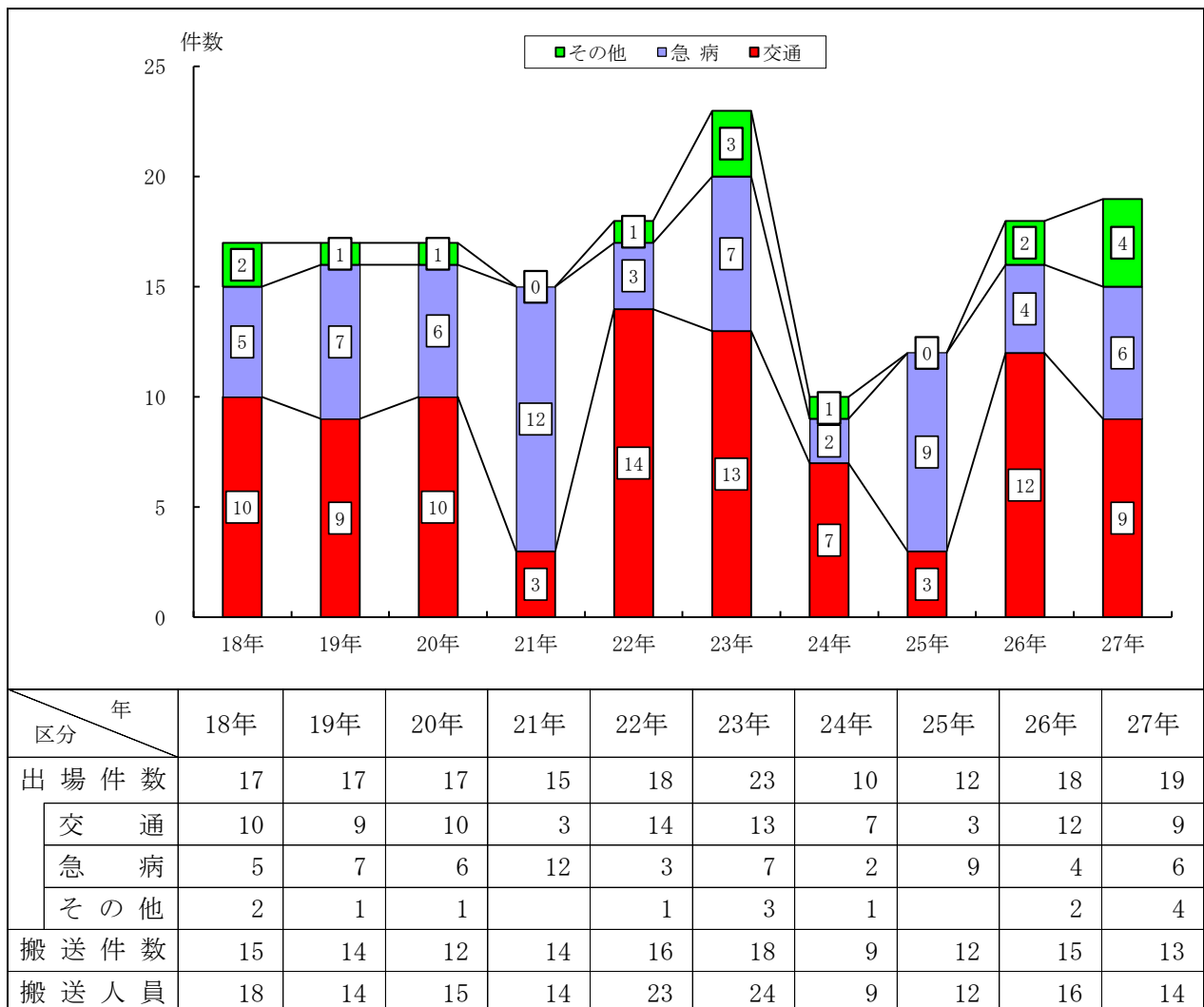
## 白山白川郷ホワイトロードにおける救急状況

白山スーパー林道における救急活動状況は、昭和52年8月の開通以来38年間で、出場累計55件、55人を搬送した。

年 区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
供用期間	6/11～11/10	5/29～11/18	6/2～11/15	5/29～11/14	6/1～11/14	6/13～11/13	6/1～11/18	6/8～11/17	5/30～11/16	6/14～11/15
日数	153	174	167	170	167	154	171	163	171	156
出場件数			1		2	1	3	3	1	3
交通							3	1	1	1
急病			1					1		1
その他					2	1		1		1
搬送件数			1		2	1	3	3	1	2
搬送人員			1		3	1	4	3	1	2

## 北陸自動車道における救急状況

高速自動車国道北陸自動車道における救急活動状況は、救急業務を開始した昭和55年以来34年間で、出場累計535件、616人を搬送した。



# 救 助 統 計

## 平成27年中の救助状況と前年比較

区 分		平成27年	平成26年	増 減	
火	建 物	出動件数	2	3	△ 1
		活動件数	2	3	△ 1
		救助人員		6	△ 6
災	建以物外	出動件数			
		活動件数			
		救助人員			
交 通 事 故	出動件数	37	45	△ 8	
	活動件数	14	12	2	
	救助人員	16	13	3	
水 難 事 故	出動件数	2	3	△ 1	
	活動件数	2	3	△ 1	
	救助人員	2	3	△ 1	
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数				
	活動件数				
	救助人員				
機 械 等 事 故 よ る 事 故	出動件数	1	5	△ 4	
	活動件数		2	△ 2	
	救助人員		2	△ 2	
建 物 等 事 故 よ る 事 故	出動件数	11	12	△ 1	
	活動件数	6	5	1	
	救助人員	6	5	1	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数				
	活動件数				
	救助人員				
破 裂 事 故	出動件数				
	活動件数				
	救助人員				
そ の 他 の 事 故	出動件数	23	24	△ 1	
	活動件数	15	16	△ 1	
	救助人員	16	17	△ 1	
合 計	出動件数	76	92	△ 16	
	活動件数	39	41	△ 2	
	救助人員	40	46	△ 6	

## 構成市町別救助状況

市町別	種別 内訳	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
		建 物	建 物 外									
合 計	出動件数	2		37	2		1	11			23	76
	活動件数	2		14	2			6			15	39
	救助人員			16	2			6			16	40
白 山 市	出動件数	1		32	2			8			20	63
	活動件数	1		12	2			3			13	31
	救助人員			13	2			3			13	31
松 任 区 域	出動件数	1		20				6			6	33
	活動件数	1		9				2			3	15
	救助人員			10				2			3	15
鶴 来 区 域	出動件数			7				1			2	10
	活動件数			2								2
	救助人員			2								2
美 川 区 域	出動件数			4				1				5
	活動件数							1				1
	救助人員							1				1
河 内 区 域	出動件数											
	活動件数											
	救助人員											
吉 野 谷 区 域	出動件数											
	活動件数											
	救助人員											
鳥 越 区 域	出動件数				2						1	3
	活動件数				2						1	3
	救助人員				2						1	3
尾 口 区 域	出動件数			1								1
	活動件数			1								1
	救助人員			1								1
白 峰 区 域	出動件数										11	11
	活動件数										9	9
	救助人員										9	9
野 々 市 市	出動件数	1		4			1	3			2	11
	活動件数	1		2				3			2	8
	救助人員			3				3			3	9
そ の 他	出動件数			1							1	2
	活動件数											
	救助人員											

## 特別救助隊・災害対応救助隊

東日本大震災や地下鉄サリン事件など、国民の生活を脅かす事案は大規模であったり特異性を有しており、これら多様化する災害に対応するためには、高度な資機材や訓練された人員が不可欠となる。

消防本部では、地域の安全確保と住民が安心して暮らせるように、消防施設の充実に合わせて、災害に対応するため、特別救助隊1隊と災害対応隊3隊を有している。

### ☆☆特別救助隊☆☆ “SPECIAL RESCUE PARTY”

※ 隊の目的 都市災害が大規模かつ複雑化している今日、高度な装備を積載した高規格救助工作車を駆使し、あらゆる災害救助に対応する。

※ 発隊日 平成8年12月24日

※ 隊員数 12名

※ 災害活動状況

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動		71件	71件	68件	81件	55件
救助活動		28件	18件	27件	26件	22件
救助人員		29人	18人	27人	31人	25人

### ☆☆水難救助隊☆☆ “SEA RESCUE PARTY”

※ 隊の目的 海岸付近や河川などの水域で発生した災害に対応する。

※ 発隊日 平成8年7月12日

※ 隊員数 12名

※ 災害活動状況

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動		1件	1件	2件	2件	0件
救助活動		1件	1件	2件	2件	0件
救助人員		1人	2人	2人	2人	0人

### ☆☆山岳救助隊☆☆ “MOUNTAIN RESCUE PARTY”

※ 隊の目的 山岳地帯で発生した災害救助に対応する。

※ 発隊日 平成8年8月31日

※ 隊員数 16名

※ 災害活動状況

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動		5件	4件	7件	5件	1件
救助活動		5件	3件	3件	2件	1件
救助人員		5人	3人	3人	2人	1人

### ☆☆化学救助隊☆☆ “CHEMICAL DISASTERS RESCUE PARTY”

※ 隊の目的 毒劇物、危険物事故による災害救助に対応する。

※ 発隊日 平成8年12月24日

※ 隊員数 8名

※ 災害活動状況

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動		0件	0件	0件	0件	0件
救助活動		0件	0件	0件	0件	0件
救助人員		0人	0人	0人	0人	0人

# 予 防 統 計



## 火災予防運動

火災の起こりやすい時季に火災予防運動を展開することで、地域住民により一層の防火を呼びかけ、火災発生の防止に努めている。

### 平成27年中の主な火災予防運動

- 文化財防火デー ( 1月26日)
- 春の火災予防運動 ( 3月20日 ～ 3月26日)
- 山火事予防運動 ( 3月20日 ～ 3月26日)
- 車両火災予防運動 ( 3月20日 ～ 3月26日)
- 危険物安全週間 ( 6月7日 ～ 6月13日)
- 防災週間 ( 8月30日 ～ 9月 5日)
- 119番の日 (11月 9日)
- 秋の火災予防運動 (11月 9日 ～ 11月15日)
- 年末特別火災予防運動 (12月27日 ～ 12月31日)

### 平成27年度 全国統一防火標語

『 無防備な 心に火災が かくれんぼ 』

### 平成27年度 危険物安全週間推進標語

『 無事故へと 気持ち集中 はっけよい 』

## 広報活動及び防火指導

さまざまな機会を捉え広報活動や防火指導を行い、地域住民の防火への関心が一層深まるように努めている。

住宅用火災警報器の普及とともに住宅火災の死者は減少傾向にあるが、さらなる設置徹底及び維持管理のための各種取組を展開している。

署・分署 広報・指導の区分	合 計	白 山 市						野々市市
		松 任 消 防 署	千 代 野 分 署	鶴 来 消 防 署	美 川 消 防 署	白 山 消 防 署	白 峰 分 署	野 々 市 消 防 署
街 頭 広 報	405	41	51	53	83	42	45	90
放 送 広 報	86	4		2	44	20	4	12
紙 面 広 報	32	16	1	1			2	12
対 象 物 防 火 指 導	135	79	17	6	9	9	8	7
対 象 物 訓 練 指 導	367	67	15	25	125	42	26	67
地 域 防 火 指 導	101	23	13	25	4	5		31
地 域 訓 練 指 導	29		2	4	11	10		2
一 般 家 庭 防 火 指 導	3,905	1,127	443	604	579	346	117	689

## 防火・防災組織の現況

### ◇ 消防クラブ(幼年・子ども・女性)の活動

幼年消防クラブ及び子ども消防クラブは、幼・少年期に防火に関する知識を養うことを目的に結成され、その活動は、地域の火災予防思想の普及にも貢献している。

女性防火クラブは、家庭で火気を取り扱う機会の多い女性が、その活動をとおして、火災予防や初期消火・通報・避難方法等について会得し、また地域の協力体制と連帯意識の強化を図ることにより、家庭での火災を予防するとともに、平和で安全な地域社会づくりを目指して活動している。

### ◇ 白山野々市防火安全協会

白山野々市防火安全協会は、事業所相互が連携することで、一層の防火管理の徹底を図ることを目的に設立された組織で、各種事業を通じて、事業所はもとより地域社会の防火安全にも貢献している。

### ◇ 消防クラブ数

区分 署・分署		幼年消防クラブ		子ども消防クラブ		女性防火クラブ	
		クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
計		52	5,734	52	1,034	13	167
白 山 市	松任消防署	14	1,596	18	325	5	39
	千代野分署	8	919	7	161	5	34
	鶴来消防署	8	835	10	190		
	美川消防署	3	391	14	336	1	32
	白山消防署	3	107	2	11		
	白峰分署	1	13				
野々市市	野々市消防署	15	1,873	1	11	2	62

白山野々市防火安全協会会員事業所数	104
-------------------	-----

## 防火対象物の数

署・分署 防火対象物の区分		合計	白山市						野々市市	
			松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署	野々市消防署	
合計		6,738	2,152	593	652	392	268	113	2,568	
(一)	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	8	2	5	1				
	ロ	公会堂又は集会場	172	32	14	48	10	33	1	34
(二)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ類								
	ロ	遊技場又はダンスホール	25	7	2				16	
	ハ	風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	2	1					1	
(三)	イ	待合・料理店類	8	5	1	2				
	ロ	飲食店	132	40	3	6	4	15	1	63
(四)		百貨店・マーケット・店舗又は展示場	332	91	15	28	12	5		181
(五)	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	119	16	1	15	1	45	36	5
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	1,863	363	138	46	20	10	9	1,277
(六)	イ	病院・診療所又は助産所	92	27	11	5	7	2		40
	ロ	養護老人ホーム等	68	12	16	7	5	6	1	21
	ハ	老人福祉センター・保育所等	110	37	10	13	8	5		37
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	13	2	2	3				6
(七)		小学校・中学校・高等学校・各種学校類	127	44	16	7	5	6	2	47
(八)		図書館・博物館・美術館類	30	5		5	3	8	6	3
(九)	イ	蒸気浴場・熱気浴場類	1							1
	ロ	イ以外の公衆浴場	12	1	3			5	1	2
(十)		車両の停車場	3	1		1				1
(十一)		神社・寺院・教会類	76	12	20	12	8	3	4	17
(十二)	イ	工場又は作業場	1,302	667	123	170	133	24	8	177
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	1	1						
(十三)	イ	自動車車庫又は駐車場	61	27	3	9	5	4	1	12
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1		1					
(十四)		倉庫	740	318	69	92	64	14	7	176
(十五)		前各項に該当しない事業場	936	307	118	114	66	61	20	250
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	327	93	13	44	22	17	9	129
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	163	39	17	17	15	4	1	70
(十七)		重要文化財	14	2		2	1	1	6	2

## 中高層建築物の現況

用途別

防火対象物の区分			合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上
合 計			1,114	757	197	75	48	22	9	3	3
(一)	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	1		1						
	ロ	公会堂又は集会場	4	2		2					
(二)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ類									
	ロ	遊技場又はダンスホール	2			1	1				
	ハ	風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
(三)	イ	待合・料理店類	1		1						
	ロ	飲食店	6	6							
(四)		百貨店・マーケット・店舗又は展示場	17	15	2						
(五)	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	31	18	4	3	3	1	1	1	
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	487	310	93	41	21	13	5	2	2 (11・12F)
(六)	イ	病院・診療所又は助産所	15	9	3	1	1	1			
	ロ	養護老人ホーム等	25	14	8		3				
	ハ	老人福祉センター・保育所等	3	1	1	1					
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	2							
(七)		小学校・中学校・高等学校・各種学校類	63	25	29	7	1				1 (12F)
(八)		図書館・博物館・美術館類	2	2							
(九)	イ	蒸気浴場・熱気浴場類									
	ロ	イ以外の公衆浴場	1	1							
(十)		車両の停車場									
(十一)		神社・寺院・教会類	3	3							
(十二)	イ	工場又は作業場	96	74	11	6	2	1	2		
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ									
(十三)	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1							
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫									
(十四)		倉庫	32	25	6			1			
(十五)		前各項に該当しない事業場	136	105	18	8	4	1			
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	122	93	13	2	9	4	1		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	62	49	7	3	3				
(十七)		重要文化財	2	2							

署・分署別

区 分		合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上
白山市	合 計	565	400	98	35	15	11	4	2	
	松 任 消 防 署	323	224	60	17	10	9	1	2	
	千 代 野 分 署	76	57	14	4	1				
	鶴 来 消 防 署	68	49	8	4	3	2	2		
	美 川 消 防 署	40	28	7	4			1		
	白 山 消 防 署	38	28	8	2					
	白 峰 分 署	20	14	1	4	1				
野々市市	野々市消防署	549	357	99	40	33	11	5	1	3 (11・12F)

# 予防査察の数

(延回数)

署・分署 防火対象物の区分		合 計	白 山 市						野々市市
			松 任 消 防 署	千 代 野 分 署	鶴 来 消 防 署	美 川 消 防 署	白 山 消 防 署	白 峰 分 署	野 々 市 消 防 署
合 計		1,587	232	226	266	259	246	119	239
(一)	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	1			1			
	ロ	公会堂又は集会場	74	7	9	4	10	35	1
(二)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ類							
	ロ	遊技場又はダンスホール	5	2	2				1
	ハ	風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
(三)	イ	待合・料理店類	6	3	1	2			
	ロ	飲食店	57	21	3	2	3	14	1
(四)		百貨店・マーケット・店舗又は展示場	126	34	10	12	17	5	48
(五)	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	107	6	1	7	1	54	37
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	119	19	5	12	9	9	10
(六)	イ	病院・診療所又は助産所	47	13	11	5	4	2	12
	ロ	養護老人ホーム等	50	2	1	13	6	9	2
	ハ	老人福祉センター・保育所等	73	23	10	10	10	5	15
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	13	1	2	3			7
(七)		小学校・中学校・高等学校・各種学校類	70	26	16	10	9	6	2
(八)		図書館・博物館・美術館類	18			2	3	7	6
(九)	イ	蒸気浴場・熱気浴場類	1						1
	ロ	イ以外の公衆浴場	9		3			3	1
(十)		車両の停車場	1		1				
(十一)		神社・寺院・教会類	31		9	6	9	3	4
(十二)	イ	工場又は作業場	214	26	38	59	56	19	8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ							
(十三)	イ	自動車車庫又は駐車場	13	2	1	4	1	3	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
(十四)		倉庫	125	9	22	38	41	8	6
(十五)		前各項に該当しない事業場	258	11	62	51	53	42	19
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	129	27	16	21	16	16	14
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	27		7		7	5	1
(十七)		重要文化財	13			3	1	1	6

## 建築同意事務処理状況

建築物の新築や増改築等を行う場合は、建築基準法により消防長等の「同意」が必要である。

この制度は、防火の専門的な立場である消防機関が、建築物の防火に関する法令の規定を踏まえ、建築物の火災予防について設計の段階から関与し、建築物の安全性を高めることを目的としている。

署・分署		防火対象物の区分	合計	白山市						野々市市
				松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署	野々市消防署
合計			272	108	30	24	16			94
(一)	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場								
	ロ	公会堂又は集会場								
(二)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ類								
	ロ	遊技場又はダンスホール								
	ハ	風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
(三)	イ	待合・料理店類								
	ロ	飲食店	10	7						3
(四)		百貨店・マーケット・店舗又は展示場	16	3	2	1	1			9
(五)	イ	旅館・ホテル又は宿泊所								
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	28	7	2					19
(六)	イ	病院・診療所又は助産所	1							1
	ロ	養護老人ホーム等	4		1	2				1
	ハ	老人福祉センター・保育所等	11	6		1	1			3
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1							1
(七)		小学校・中学校・高等学校・各種学校類								
(八)		図書館・博物館・美術館類								
(九)	イ	蒸気浴場・熱気浴場類								
	ロ	イ以外の公衆浴場								
(十)		車両の停車場								
(十一)		神社・寺院・教会類	4			1	1			2
(十二)	イ	工場又は作業場	35	18	9	5	2			1
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
(十三)	イ	自動車車庫又は駐車場	1		1					
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
(十四)		倉庫	18	4	4	3	1			6
(十五)		前各項に該当しない事業場	35	10	3	4	3			15
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	13	5	1		2			5
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	7	2	2					3
(十七)		重要文化財								
その他		長屋等	88	46	5	7	5			25
許可申請			4	2		1		1		
計画通知			15	3	1	1	5	3		2
確認通知			892	272	127	167	60			266

## 防火管理

消防法では、多数の人を収容する防火対象物の管理について権原を有する者に対して、防火管理者を選任し、その防火管理者に消防計画を作成させ、防火管理上必要な業務を行わせることを義務付けている。

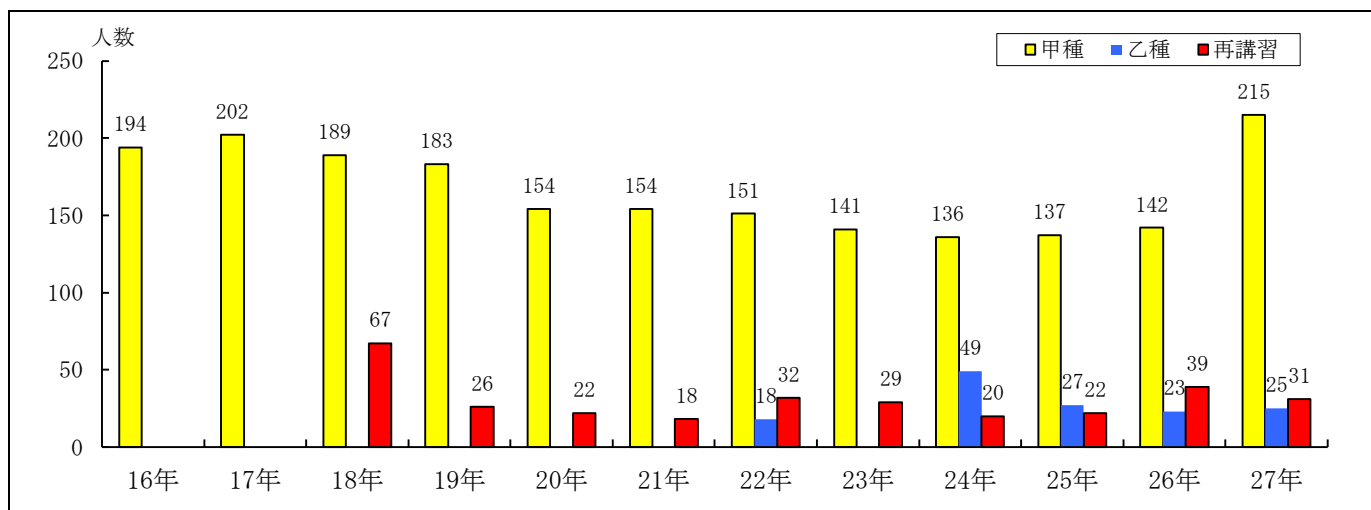
防火管理者については、消防法で定める一定の資格を有しなければならないため、当消防本部では、この資格付与のための講習会を年1回以上開催している。

なお、防火管理者の資格については、防火対象物の用途や規模等に応じ「甲種」と「乙種」に区別されている。



また、特定防火対象物で収容人員が300人以上のもの防火管理者を対象に「再講習」を実施している。

### 受講状況



### 防火管理状況 (防火管理者及び消防計画を要する防火対象物)

項目	防火対象物の区分	合 計	届 出 率	(一)		(二)		(三)		(四)	(五)		(六)			(七)	(八)	(九)		(十一)	(十二)		(十四)	(十五)	(十六)		(十七)
				イ	ロ	ロ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	ハ	ニ	イ			ロ	イ		ロ	イ			ロ	イ	
				劇場・映画館・観覧場	公会堂・集会場	遊技場・ダンスホール	カラオケボックス等	待合・料理店類	飲食店	百貨店・マーケット・店舗	旅館・ホテル	寄宿舎・共同住宅	病院・診療所	養護老人ホーム等	老人福祉センター・保育所等	幼稚園又は特別支援学校	学校	図書館・美術館類	蒸気浴場・熱気浴場類	公衆浴場	神社・寺院・教会類	工場・作業場	テレビスタジオ	倉庫	前各項に該当しない事業場	複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物
対 象 数	1,317	%	2	78	18	2	6	44	185	72	110	25	52	76	9	50	13	1	7	21	101	1	20	108	198	34	6
防火管理者	1,133	86.0%	2	72	17	2	6	41	173	72	80	25	50	74	9	48	12	1	7	21	96	1	20	94	177	28	5
消 防 計 画	1,100	83.5%	2	72	16	2	6	41	169	71	65	25	50	74	9	48	12	1	7	21	91	1	20	92	173	27	5



## 各届出等受理状況

消防業務を行う上で必要な情報を得るため、消防法や火災予防条例では、特定の行為者に対して、その行為内容についての届出を指導している。

区分	署・分署	合計	白山市					野々市市	
			松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署	野々市消防署
消防用設備等着工届		242	78	32	30	33	11		58
消防用設備等設置届		916	330	85	156	90	38		217
防火対象物使用開始届		359	93	62	44	22	21	3	114
防火・防災管理者選任・解任届		322	86	38	34	17	21	10	116
統括防火・防災管理者選任・解任届		2			1			1	
消防計画作成(変更)届		424	113	43	61	28	30	10	139
全体についての消防計画作成(変更)届		2			1			1	
消火・避難訓練通報		818	165	95	78	92	63	36	289
消防用設備等点検結果報告		2,390	596	200	253	161	163	70	947
防火対象物点検結果報告		152	47	13	19	6	6	4	57
防火対象物点検結果報告特例申請		2	1						1
防災管理対象物点検結果報告		8	3	3	2				
防災管理対象物点検結果報告特例申請									
自衛消防組織設置(変更)届									
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い届		51	15	8	4	4	2		18
炉・ボイラー等設置届		51	12	7	7	7		1	17
発電・変電・蓄電池設置届		129	34	33	16	14	7	6	19
ネオン管灯設置届									
水素ガスを充てんする気球の設置届		4	4						
火災とまぎらわしい煙等届		137		19	38	22	7	4	47
煙火打上げ・仕掛け設置届		9	3		3	3			
催物開催届		3	1	1					1
用水・水道の断水・減水届		53				3	47	3	
道路工事届		256	1			83	137	34	1
露店等の開設届		26	8	1	5		5	2	5
少量・指定貯蔵取扱い届		67	9	15	24	1	2	5	11
少量・指定貯蔵取扱い廃止届		39	18	6	4	1	2	3	5

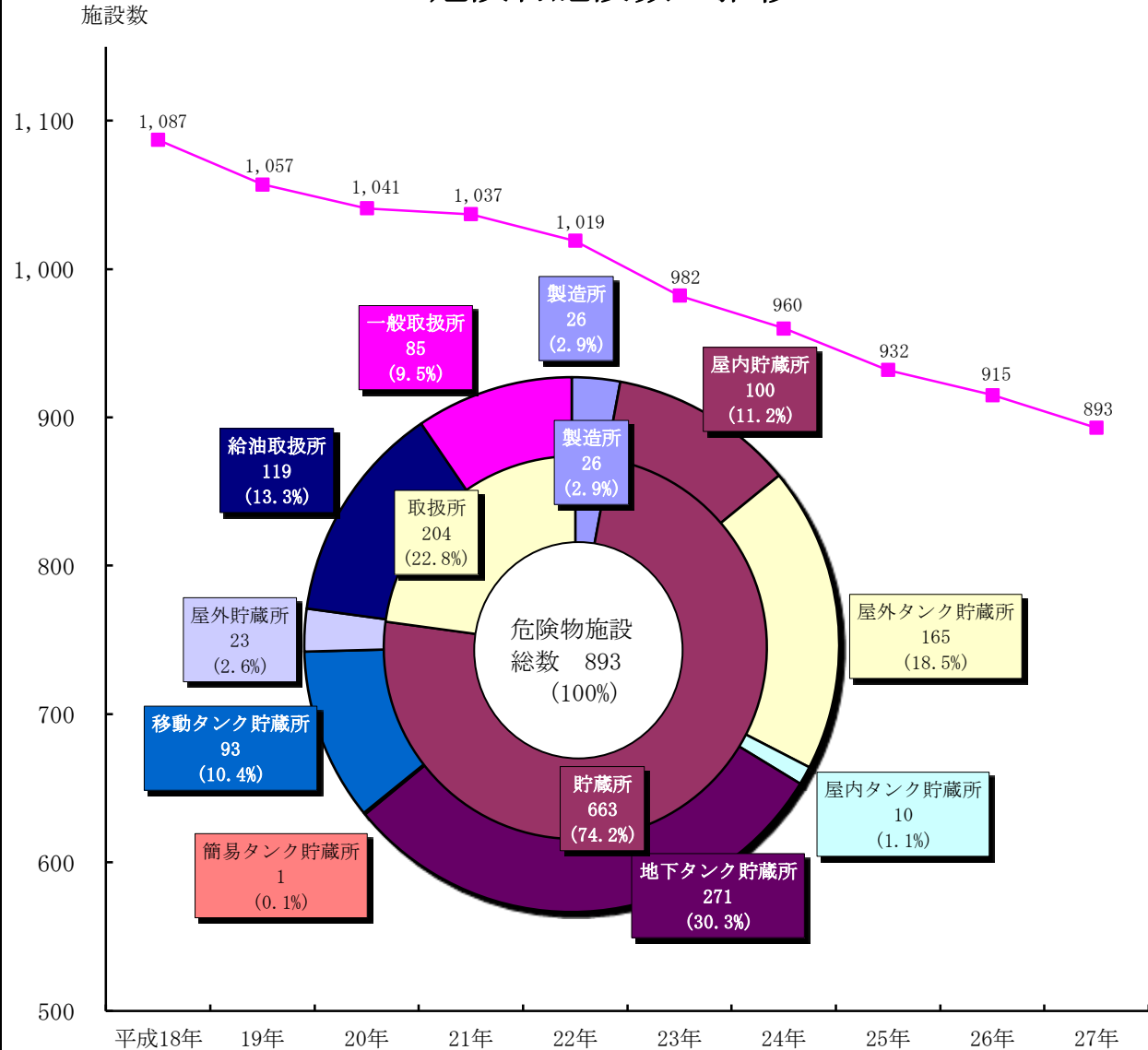
# 危険物規制

危険物による災害の発生を防止するため、一定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合は、消防法により、その位置、構造及び設備を一定の基準に適合させ、危険物施設としての許可を受けなければならないほか、その施設の使用にあたっては、完成検査を受けなければならない。施設を変更する場合も同様としなければならない。

危険物施設において貯蔵、取扱いが消防法令どおりに行われているかを定期的に検査し、事故の防止を図っている。



## 危険物施設数の推移



※ 各区分のパーセントの合計は、四捨五入の関係上100パーセントにならない場合があります。

## 危険物施設数

施設の区分 署・分署	合計	白山市						野々市市
		松任消防署	千代野分署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署	野々市消防署
合計	893	282	179	92	106	74	32	128
製造所	26	1	13	1	11			
貯蔵所	663	208	135	62	74	60	29	95
屋内貯蔵所	100	49	17	7	10	2	3	12
屋外タンク貯蔵所	165	26	80	4	49	4		2
屋内タンク貯蔵所	10		4			1		5
地下タンク貯蔵所	271	91	18	37	9	43	19	54
簡易タンク貯蔵所	1	1						
移動タンク貯蔵所	93	36	13	13	2	6	1	22
屋外貯蔵所	23	5	3	1	4	4	6	
取扱所	204	73	31	29	21	14	3	33
給油取扱所	119	50	14	16	6	8	1	24
一般取扱所	85	23	17	13	15	6	2	9

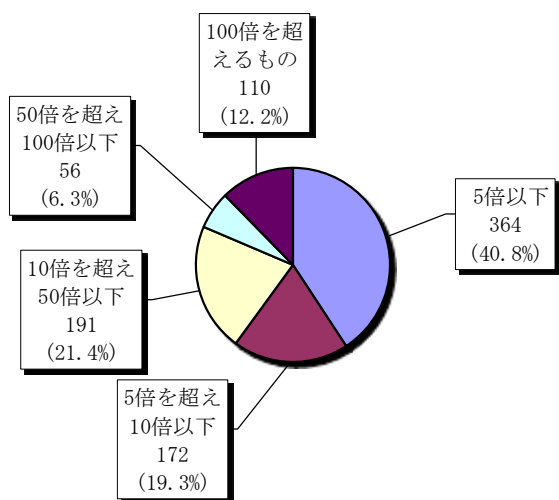
少量危険物貯蔵取扱所	1,467	530	147	215	99	149	73	254
指定可燃物貯蔵取扱所	124	48	27	8	25		1	15

## 危険物施設の規模及び種別

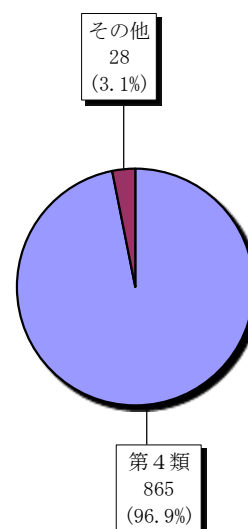
施設の区分 規模及び種別		合計	製造所	貯蔵所							取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	
完成検査済証交付施設数		893	26	663	100	165	10	271	1	93	23	204	119	85	
数量別	5倍以下	364		323	45	20	6	172	1	75	4	41	3	38	
	5倍を超え10倍以下	172	1	135	25	28	4	65		1	12	36	16	20	
	10 " 50 "	191	4	121	19	66		27		2	7	66	46	20	
	50 " 100 "	56	5	38	2	16		5		15		13	8	5	
	100 " 150 "	20	2	11		9		2				7	7		
	150 " 200 "	17	1	9	2	7						7	7		
	200 " 1,000 "	69	11	24	5	19						34	32	2	
	1,000 " 5,000 "	4	2	2	2										
	5,000 " 10,000 "														
	10,000倍を超えるもの														
類別別	単独	第1類													
		第2類	1		1		1								
		第3類													
		第4類	865	11	652	91	163	10	271	1	93	23	202	119	83
		第5類													
	第6類	1		1		1									
	混在	26	15	9	9							2		2	

数量別構成

危険物施設総数 893 施設



類別構成



(注) 倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を危険物の規制に関する政令別表第3で定める指定数量で除して得た数値である。

※ 各区分のパーセントの合計は、四捨五入の関係上100パーセントにならない場合があります。

## 危険物施設許可・検査の状況

施設の区分 項目		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取扱所	
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
許可事項	計	130	53	12	24	2	4		9	1	14	11
	設置許可	23	1	2	8	1			5	1	1	4
	変更許可	107	52	10	16	1	4		4		13	7
検査事項	計	105	38	10	16	1	6		9	1	13	11
	完成検査	21		1	6	1	2		5	1		5
	変更完成検査	84	38	9	10		4		4		13	6
届出事項	計	203	23	14	29	1	36		9	4	70	17
	品名・数量変更届	11		4	2		2		1	1		1
	譲渡引渡届	10		1		1	6				1	1
	廃止届	36		3	3		13		6	3	5	3
	各種届出	93	17		17		9		2		46	2
	保安監督者選任・解任届	53	6	6	7		6				18	10
承認事項	仮使用承認	83	48	9	13		2				7	4
	仮貯蔵・仮取扱承認	8										

## 液体危険物タンクの完成検査前検査の状況

合 計	水 張 検 査			水 圧 検 査					
	小 計	10kℓ 以下	10kℓを超え 1000kℓ以下	小 計	600ℓ 以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超え 30kℓ以下	30kℓを 超える
32	20	17	3	12		11			1

## 危険物施設の立入検査状況

(延回数)

施設の区分 署・分署	合 計	白 山 市						野々市市
		松 任 消 防 署	千 代 野 分 署	鶴 来 消 防 署	美 川 消 防 署	白 山 消 防 署	白 峰 分 署	野 々 市 消 防 署
合 計	412	36	124	48	89	66	22	27
製 造 所	24		13	1	10			
貯 蔵 所	312	28	95	30	64	54	20	21
屋 内 貯 蔵 所	19		6	3	7	1	1	1
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	115		62	3	47	3		
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2		1			1		
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	118	17	12	15	5	43	14	12
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	49	11	12	8	2	6	2	8
屋 外 貯 蔵 所	9		2	1	3		3	
取 扱 所	76	8	16	17	15	12	2	6
給 油 取 扱 所	43	8	8	11	2	7	1	6
一 般 取 扱 所	33		8	6	13	5	1	

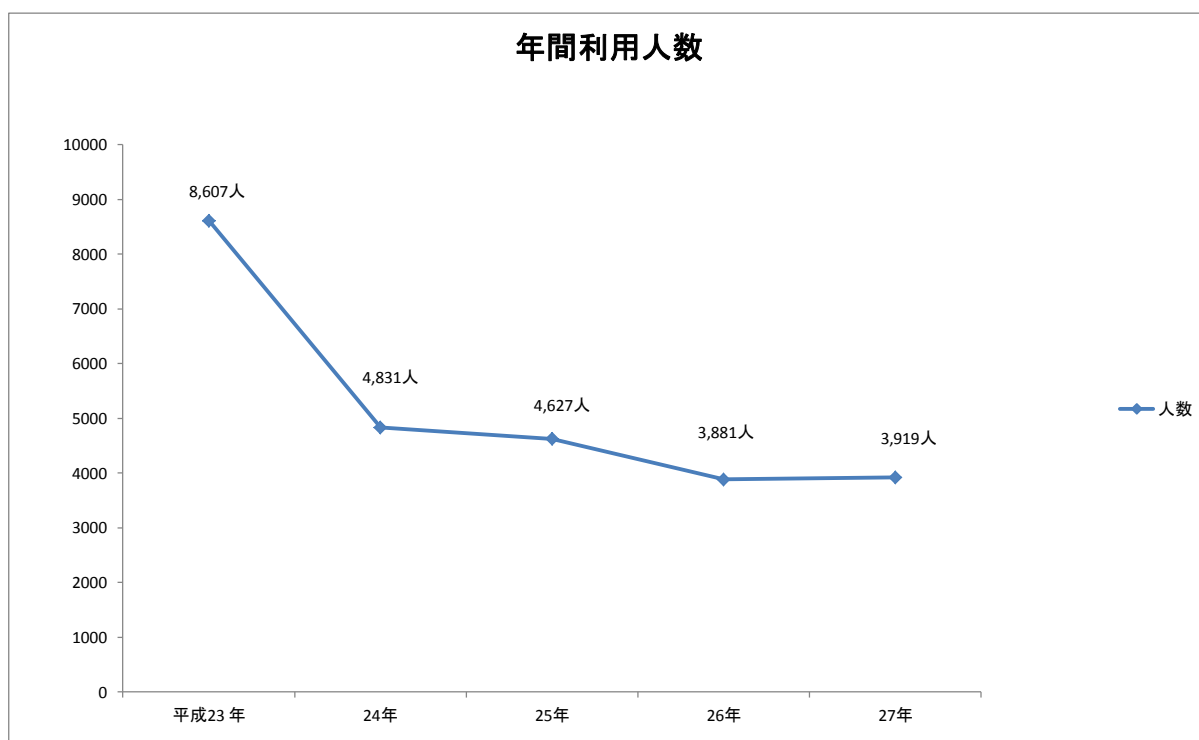
少量危険物貯蔵取扱所	375	31	45	59	35	111	49	45
指定可燃物貯蔵取扱所	36		6	8	19		1	2

防 災 学 習 セ ン タ ー

◇利用状況

開館日平成22年10月6日

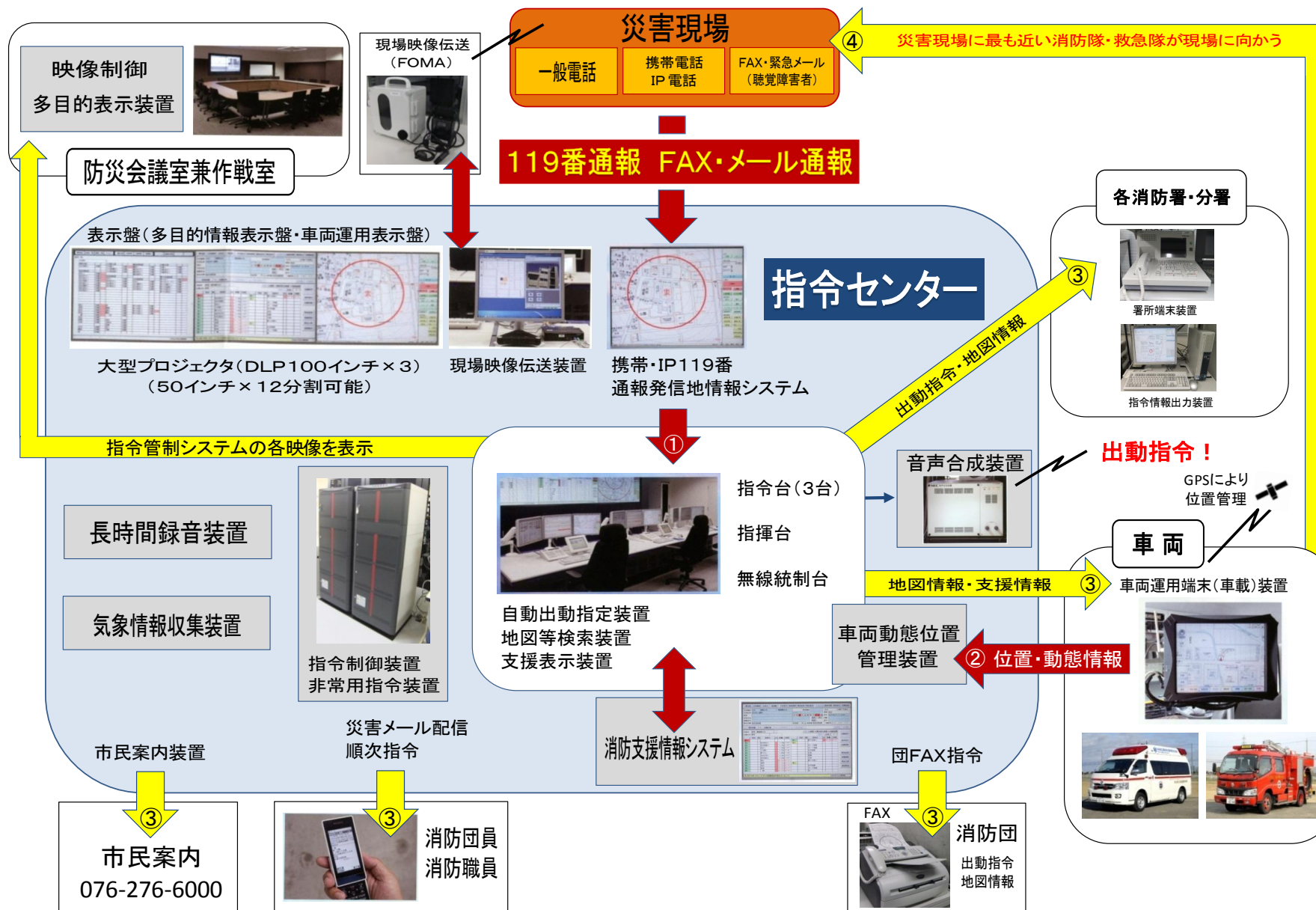
年別	内訳	団体計		個人計		合計			1日平均 利用者数 開館日数
		管内	管外	管内	管外	管内	管外	計	
H23	団体数	225	32	-	-	225	32	257	28.2人 305日
	人数	6,414	836	1,265	92	7,679	928	8,607	
H24	団体数	132	34	-	-	132	34	166	15.7人 307日
	人数	3,412	831	517	71	3,929	902	4,831	
H25	団体数	114	32	-	-	114	32	146	15.2人 306日
	人数	3,450	752	317		3,767	752	4,519	
H26	団体数	85	29	-	-	85	29	114	13.3人 292日
	人数	2,919	771	125	66	3,044	837	3,881	
H27	団体数	108	23	-	-	108	23	131	13.3人 294日
	人数	3,124	609	103	83	3,227	692	3,919	
開館日(H22.10.6)からの累計		664	150	-	-	664	150	814	17.1人 1,504日
		19,319	3,799	2,327	312	21,646	4,111	25,757	





# 通信指令

# 高機能消防指令センターの機能



## 無線局設置状況

種別		署別	合計	消防本部	松任消防署	千代野分署	野々市消防署	鶴来消防署	美川消防署	白山消防署	白峰分署
無線局合計			174	43	39	10	24	15	14	17	12
消防無線	基地局		5	5							
	陸上移動局(車載)		39	8	8	3	6	4	4	3	3
	陸上移動局(携帯)		30	4	8	2	5	3	3	3	2
	陸上移動局(可搬型)		4	2						1	1
	陸上移動局(卓上型)		7		1	1	1	1	1	1	1
	陸上移動局(署活)		80	18	22	4	12	6	6	8	4
	陸上移動局(防災相互)		7	5						1	1
	固定局		1					1(伊ノ)			
地球局(県防災無線)			1	1							
受令機	消防無線用		10	2	2	1	1	1	1	1	1

## 119番着信件数

区分	火災	救急	救助	事故	間違い	いたずら	訓練通報	試験通報	無応答	その他	合計
固定 119	8	1,390	5	4	46	2	511	454	18	273	2,711
携帯 119	30	1,930	23	24	101	2	70	63	58	667	2,968
IP 119	2	1,609	5	1	29	0	232	0	11	163	2,052
合計	40	4,929	33	29	176	4	813	517	87	1,103	7,731

※「119番着信件数」とは、通報件数であり、災害件数とは異なります。

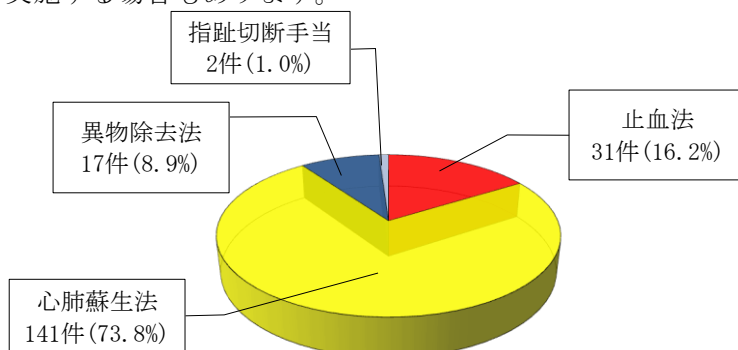
## 口頭指導とバイスタンダー応急手当の状況

平成27年中の救急出動件数「5,258件」のうち、119番で受信したものは「4,929件」です。  
 この中で、傷病者の状態の悪化を防ぐため、「191件」の事案に対し口頭指導を行いました。

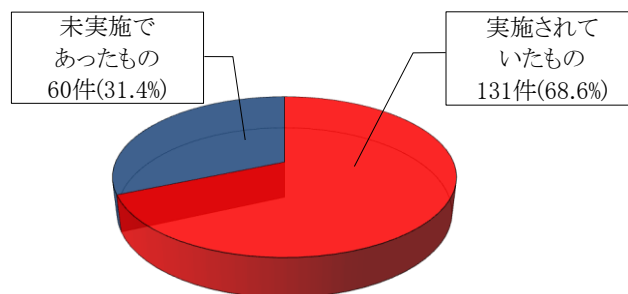
※ 1つの救急事案で、複数の口頭指導を実施する場合があります。

口頭指導の内訳

止血法	31件
心肺蘇生法	141件
異物除去法	17件
指趾切断手当	2件
合計	191件



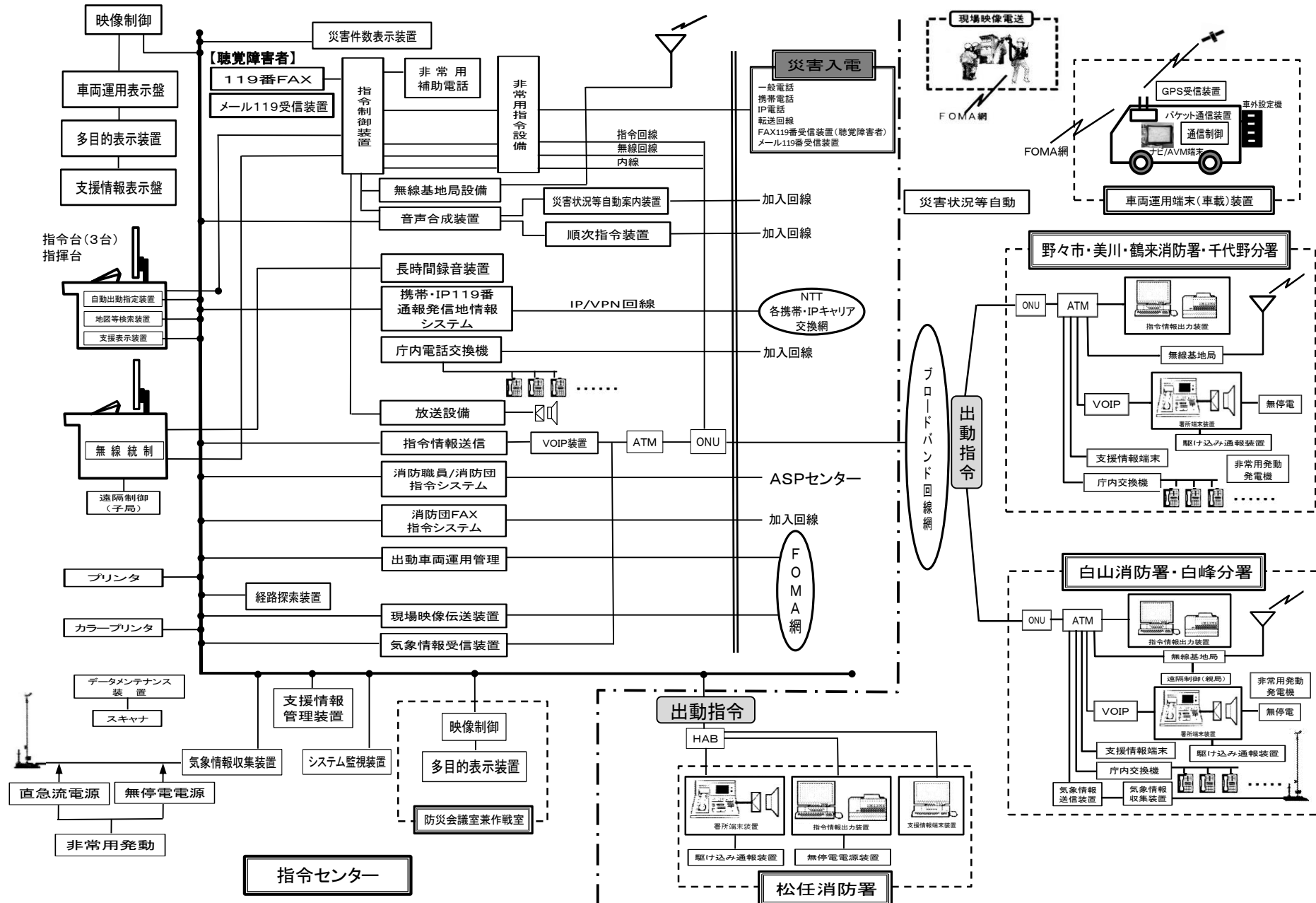
口頭指導を実施した結果、救急隊が現場に到着した際、家族や同僚等の協力者(バイスタンダー)により実際に実施されていた応急手当は「131件」  
 動揺や高齢等を理由に、未実施であったものは、「60件」となっています。



## 通信施設設置状況

種 別		署 別	合 計	消 防 本 部	松 任 消 防 署	千 代 野 分 署	野 々 市 消 防 署	鶴 来 消 防 署	美 川 消 防 署	白 山 消 防 署	白 峰 分 署
1 1 9 回 線	固 定 119 番		4	4							
	携 帯 119 回 線		4	4							
	携 帯 119 転 送 発 信		1	1							
	携 帯 119 転 送 受 信		1	1							
	加 入 回 線 (指 令 台 発 信 用)		1	1							
	メ ー ル 119 受 信		1	1							
	119回線(非常用衛星経由)		1	1							
指 令 回 線			7	1		1	1	1	1	1	
位 置 情 報	IP-VPN		2	2							
	専 用 線		2	2							
出 場 車 両 管 理	親 局		1	1							
	A V M		34	5	8	2	5	4	4	3	3
白 山 市 直 通 電 話			1	1							
美 川 支 所 直 通 電 話			1					1			
野 々 市 市 直 通 電 話			1				1				
石 川 県 土 木 総 合 事 務 所 連 絡 用			2							1	1
警 察 署 直 通 電 話			1	1							
高 速 道 路 直 通 電 話			1	1							
住 民 案 内 加 入 回 線			4	4							
順 次 指 令 加 入 電 話			5	5							
石 川 県 総 合 防 災 情 報			1	1							
消 防 団 F A X 指 令			1	1							
消 防 O A 用 回 線			7	1		1	1	1	1	1	1
職 員 ・ 団 指 令 メ ー ル			1	1							
現 場 映 像 受 信			1	1							
事 務 用 電 話 回 線	I N S		14	8		1	1	1	1	1	1
	ア ナ ロ グ		1	1							
移 動 ( 携 帯 ) 電 話			9	1	2	1	1	1	1	1	1
移 動 ( 衛 星 ) 電 話			3	1						1	1

# 高機能消防指令センター系統図



# 高機能消防指令センター機器一覧表

機 種 名	数量	単位	備 考
1 指令装置			
(1) 指令台・指揮台	4	台	3画面構成
(2) 自動出動指定装置			
制御処理装置	4	台	
21型ディスプレイ装置	4	台	
(3) 地図等検索装置			
制御処理装置	4	台	
21型ディスプレイ装置	4	台	
(4) 支援情報ディスプレイ装置	4	台	
(5) 長時間録音装置	1	式	ダビング用録音デッキ含む
(6) 指令制御装置	1	式	内部二重化
(7) 非常用指令設備	1	式	指令制御装置並列設置型（シングル構成）
(8) プリンタ	1	台	
(9) カラープリンタ	1	台	
(10) スキャナ	1	台	
(11) データメンテナンス装置	1	式	
(12) 署所端末装置	7	式	
2 表示盤			
(1) 車両運用表示板	4	面	50インチDLP
(2) 支援情報表示板	4	面	50インチDLP
(3) 多目的情報表示装置			
表示装置	4	面	50インチDLP
映像制御装置	1	式	
(4) 災害件数表示盤	1	式	
3 無線統制台	1	式	
4 指令電送装置			
(1) 指令情報送信装置	1	式	
(2) 指令情報出力装置	7	式	地図機能付
5 気象情報収集装置			
(1) 気象情報センサー	3	式	風向風速、温湿度、雨量、気圧
(2) 気象情報記録装置	3	式	
6 災害状況等自動案内装置	1	台	
7 順次指令装置	1	台	
8 音声合成装置	1	式	
9 出場車両運用監理装置			
(1) 監理装置	1	式	
(2) 車両運用端末装置	34	式	A V M、ナビ（一体型）
10 経路探索装置	1	式	
11 システム監視装置	1	式	
12 電源設備			
消防本部用無停電電源装置	1	式	
署所用無停電電源装置	4	式	
13 署所用非常用発動発電機	2	式	
14 統合型発信位置通知システム	2	式	
15 支援情報システム			
(1) 支援情報管理装置	1	台	
(2) W e b 地図制御装置	1	台	
16 本部無線設備			
(1) 基地局装置	5	式	
(2) 管理監視制御卓	1	台	
(3) 遠隔制御装置	1	式	
(4) 近隣消防傍受用受令機	2	台	

17 消防ネットワーク設備			
ネットワーク基幹	1	式	L3 SW
スイッチングハブ	1	式	
所署用ルータ	6	台	
消防本部用V O I P装置	2	台	
署所用V O I P装置	6	台	
18 拡張台	3	台	
19 非常用補助電話機	3	台	
20 電話交換機			
消防本部用電話交換機	1	台	
署所用電話交換機	6	台	
電話機	多機能電話機	65	台
	一般電話機	21	台
	PHS電話機	20	台
	構内PHSアンテナ	12	台
	収納ボックス	5	台
DSSコンソール	6	台	
21 庁内放送設備			
卓上型アンプ 30W 5局	4	台	
卓上型アンプ 60W 5局	2	台	
天井埋め込み型スピーカー 3W	18	台	
ホーンスピーカー 10W 角型	12	台	
22 駆け込み通報装置	7	台	
23 消防職員・消防団指令システム	1	式	
24 FAX119受信装置	1	台	
25 メール119受信装置			
制御装置	1	台	
22型ディスプレイ装置	1	台	
プリンタ	1	台	
表示灯	1	台	
26 現場映像電送装置			
映像受信サーバー	1	式	
映像監視装置	1	台	
位置監理サーバーロケーションビューア	1	式	
21型ディスプレイ装置	1	式	
音声配信装置	1	台	
画像伝送端末 (ポシエット型)	4	台	
画像伝送端末 (監視BOX型)	3	台	
27 消防団FAX指令装置			
制御装置	1	台	
17型ディスプレイ装置	1	台	
28 防災会議室兼作戦室設備			
46型LCDディスプレイ装置	4	台	
スピーカ	4	台	
映像制御装置			
RGBインターフェース	2	台	
AVマトリクススイッチャー	18	式	
制御機	18	式	
RGBイコライザー	4	台	
パワーアンプ	1	台	
電源制御ユニット	1	台	
バランスアンバランス オーディオコンバータ	1	台	
遠隔リモコン操作器	1	台	
29 MDF			
25「J号」RW端子版	1	式	
高速回線避雷ユニット	1	式	

# 機 械 裝 備



# 車両配置状況

H28.3.31

所属	車両名	車両種別	登録年月	車令 (年・月)	社名	ポンプ		緊急消防援助隊 (登録)
						メーカー	級別	
消防本部	予防1号車	予防査察車	H23.03	4.9	トヨタ			
	予防2号車	予防査察車	H17.12	10.0	三菱			
	予防3号車	防火指導車	H15.09	12.3	ダイハツ			
	本部連絡車	連絡車	H16.11	11.1	トヨタ			
	本部連絡2号車	連絡車	H28.03		スズキ			
	本部指揮支援車	指揮支援車	H24.04	3.8	トヨタ			都道府県指揮隊
	本部警防車	警防車	H18.09	9.3	トヨタ			
	本部無線中継車	無線中継車	H27.08	0.4	トヨタ			
	白山野々市1号車	CD-I型ポンプ車	H08.01	19.11	三菱	日本機械	A2	
	本部救急車	救急車	H15.10	12.2	トヨタ			
松任消防署	松任1号車	CD-I型ポンプ車	H18.03	9.9	日野	モリタ	A2	
	松任化学車	Ⅲ型(水槽1,300ℓ 薬槽1,200ℓ)	H09.10	18.2	日野	日本機械	A2	
	松任梯子車	梯子付ポンプ車(35m)	H11.01	16.11	コシデンアイゼン	日本機械	A2	
	松任救急車	高規格救急車	H25.11	2.1	トヨタ			
	松任指令車	指令車	H16.06	11.6	トヨタ			
	松任救助工作車	Ⅱ型救助工作車	H23.11	4.4	日野			救助部隊
	松任機材1号車	資機材搬送車	H15.02	13.1	トヨタ			後方支援部隊
	松任水難機材車	資機材搬送車	H28.03		日野			
千代野分署	千代野1号車	CD-I型ポンプ車	H27.03	1.0	日野	日本機械	A2	
	千代野救急車	高規格救急車	H24.02	4.1	トヨタ			
	千代野警防車	警防車	H05.07	22.8	トヨタ			
	ボートトレーラ	ボートトレーラ	H16.09	11.6	三菱			
野々市消防署	野々市1号車	CD-I型ポンプ車	H21.03	7.0	日野	モリタ	A2	
	野々市タンク車	Ⅱ型水槽付ポンプ車(水槽2,000ℓ)	H16.02	12.1	日野	モリタ	A2	
	野々市梯子車	屈折梯子付ポンプ車(25m)	H20.02	8.1	日野			特殊装備部隊
	野々市救急車	高規格救急車	H22.11	5.4	トヨタ			
	野々市指令車	警防車	H17.08	10.7	トヨタ			
	野々市連絡車	連絡車(賃貸)	H23.08	4.7	トヨタ			
鶴来消防署	鶴来1号車	CD-I型ポンプ車	H22.03	6.0	日野	日本機械	A2	消火部隊
	鶴来化学車	Ⅱ型化学車(水槽2,000ℓ 薬槽500ℓ)	H17.12	10.3	日野	日本機械	A2	
	鶴来救急車	高規格救急車	H27.10	0.5	トヨタ			救急部隊
	鶴来警防車	警防車	H20.07	7.8	三菱			
美川消防署	美川1号車	CD-I型ポンプ車	H08.01	20.2	三菱	長野ポンプ	A2	
	美川化学車	Ⅱ型化学車(水槽2,000ℓ 薬槽500ℓ)	H11.08	16.7	日野	日本機械	A2	
	美川救急車	高規格救急車	H21.11	6.4	トヨタ			
	美川警防車	警防車	H09.07	18.8	日野			
白山消防署	白山1号車	CD-I型ポンプ車(救助仕様)	H26.07	1.8	日野	長野ポンプ	A2	消火部隊
	白山救急車	高規格救急車	H24.10	3.5	トヨタ			
	白山警防車	警防車	H27.02	1.1	トヨタ			
白峰分署	白峰1号車	CD-I型ポンプ車	H15.01	13.2	トヨタ	日本機械	A2	
	白峰救急車	高規格救急車	H27.12	0.3	トヨタ			

## 消防機関の出動状況

出動状況	種別	合計	火	救	救	火	風	演	広	警	火	特	捜	予	そ
			災	急	助	災	水	習	報	防	災	別	索	防	の
			災	急	助	災	害	訓	指	調	調	警		査	他
			災	急	助	災	害	練	導	査	査	戒	索	察	
出動回数		12,650	25	5,258	72	26	1	1,828	790	626	21	4	1	1,250	2,748
出動延人員		46,103	340	19,780	645	222	3	7,807	3,003	2,136	116	12	3	4,154	7,882

※ 消防防災・震災対策現況調査に準拠しているため、下表の合計と一致しない部分があります。

## 消防車両等の出動状況

所 属	種別	合計	火	救	救	火	風	演	広	警	火	特	捜	予	そ
			災	急	助	災	水	習	報	防	災	別	索	防	の
			災	急	助	災	害	訓	指	調	調	警		査	他
			災	急	助	災	害	練	導	査	査	戒	索	察	
合 計	車両数	14,806	117	6,373	257	106	10	1,755	938	734	60	16		1,472	2,968
	人員	46,235	390	19,752	835	378	40	6,723	2,922	2,402	181	46		4,739	7,827
消 防 本 部	車両数	2,956	54	1,287	180	41	8	538	95	176	9	2		167	399
	人員	9,735	183	4,025	595	141	32	1,882	335	637	29	4		623	1,249
千 代 野 分 署	車両数	2,436	8	1,411	15	9	2	233	90	101	1	5		125	436
	人員	7,432	26	4,279	48	29	8	765	263	323	3	18		391	1,279
野 々 市 消 防 署	車両数	4,166	22	1,893	21	35		303	269	120	29	2		717	755
	人員	13,235	75	5,995	61	134		1,272	883	390	92	6		2,273	2,054
鶴 来 消 防 署	車両数	1,755	14	737	10	10		156	144	61	12			151	460
	人員	7,335	46	2,257	29	37		660	427	200	36			490	1,153
美 川 消 防 署	車両数	1,566	17	649	10	7		134	193	69	6	5		132	344
	人員	4,751	53	1,989	29	23		636	577	218	11	12		419	784
白 山 消 防 署	車両数	1,418	2	298	16	1		319	94	147	3	2		120	416
	人員	4,331	7	911	58	5		1,254	281	453	10	6		366	980
白 峰 分 署	車両数	509		98	5	3		72	53	60				60	158
	人員	1,416		296	15	9		254	156	181				177	328

資器材一覧表  
救助用資器材

H28.3.31

分類	品名		総数	本部	松任	千代野	野々市	鶴来	美川	白山	白峰	特救隊	水難隊	山岳隊	化学隊
一般救助	かぎ付はしご		6	1	1		1		1		1	1			
	三連はしご		12	1	1	1	3	2	1	1	1	1			
	救命索発射銃	火薬式・空気式	2									2			
	平担架		2		1							1			
排除重量物	油圧ジャッキ	ラムシリンダー	1									1			
	可搬ウインチ	TU-16	9	1			2	1	1	1	1	1		1	
	マット型空気ジャッキ		1									1			
	大型油圧スプレッダー	油圧スプレッダー	2							1		1			
切断	油圧切断機	コンビツール	2								1	1			
	エンジンカッター		1									1			
	チェーンソー		3					1		1		1			
	大型油圧切断機	カッター	2							1		1			
破壊	破壊用工具	万能斧等	39	4	7	4	6	3	6	4	3	2			
	携帯用コンクリート破壊器具		1									1			
測定知	複合ガス測定器	可燃性・毒性	4		1							2			1
	放射線測定器	個人線量計のぞく	2		1							1			
呼吸保護	空気呼吸器	ボンベ含む	53	3	9	3	10	6	6	3	3	5			5
	空気ボンベ(予備)	一般複合容器	64	4		3	17	9	11	4	6	5			5
	酸素呼吸器		5									5			
	酸素ボンベ(予備)	2.00	5	5											
隊員保護	耐電用防護服	耐電衣・ズボン・長靴	2									2			
	化学防護服	(陽圧式を除く)	95		3		6	23	26	25	3	2			7
	陽圧式化学防護服		11									5			6
	耐熱服		10		4			2	2						2
検索	簡易画像探索器	プロカム	1									1			
	熱画像直視装置	アルゴス	1									1			
	夜間暗視装置	ナイトビューア	1									1			
水難救助	ウェットスーツ	一式	16										16		
	BCジャケット	一式	8										8		
	ドライスーツ	一式	4										4		
	フルフェイスマスク	一式	4										4		
	潜水ボンベ												16		
	救命胴衣		65		8	6	6	7	7	12		5	14		
	水中投光器		5										5		
	救命浮環・浮標		28		1	1		2	1	7		2	14		
	救命ボート		2										2		
	船外機		2										2		
救山岳	登山器具	一式	15											15	
	バスケットストレッチャー		5				1	1		1		1	1		
	スケッドストレッチャー		2											2	
その他	油圧発生装置	パワーユニット	4				1			1	1	1			
	投光器	一式	14	1	4	1	3	2	1	1	1				
	発電機	可搬式	20	2	3	1	3	4	2	3	1	1			
	携帯拡声器		32	3	7	2	4	5	3	3	2	2	1		
	除染シャワーテント		2												2
	高圧空気充填機	空気呼吸器用	1		1										
<p>その他主な救助資機材</p> <p>空気式救助マット、救助用支柱器具、ガス溶断器、空気切断機、コンクリート鉄筋切断用チェーンソー、削岩機、送排風機、エアラインマスク、画像探索機（ファイバースコープ）、地中音響探知機</p>															

資器材一覧表

警防用資器材

H28.:

分類	品名		総数	本 部	松 任	千 代 野	野 々 市	鶴 来	美 川	白 山	白 峰	特 救 隊	水 難 隊	山 岳 隊	
ホース及び放水関連器具	ホース	65mm	397		40	57	79	67	60	51	43				
		50mm	138		11	16	29	31	21	18	10	2			
	ホースカー		8		2	1	2	2		1					
	ホース背負具		13		2		1	1	7		2				
	ホースバック		6			2	2			2					
	管そう	65mm	28	2	3	2	6	5	4	2	3	1			
		50mm	14		1	2	5	3	1	2					
	特殊ノズル	ダブルコントロール	14		3		4		2	4	1				
		フォグガン	8		1	1	1	2	2		1				
		プロジェクトガン	7		1	1	1	1	1	1	1				
		無反動ノズル	11	1	1	1	2	1	2	2	1				
CAFSノズル	3		1		1	1									
発泡ノズル	エアフォームノズル等	9	1			1	2	2	1	2					
小型動力ポンプ		6		1		1	1	1	1	1					
火林 災野	ウォーターチャージャー		3					2		1					
	背負式ポンプ	ジェットシューター	50		6	3	5	12	5	15	4				
	簡易水槽		9			1	1	3	2	1	1				
薬消 剤火  (0)	水溶性液体用	メガフォーム	2,580	1,020	540	180		640		100	100				
	水成膜	サーフウォーター	2,280	320			1,360		600						
	界面活性泡		560				560								
	界面活性泡 (A火災用)	ミラクルフォームα	340	260	20		60								
油理 処剤	油吸着シート (枚)	シートタイプ	382	133	30	22	25	38	43	21	50	20			
	油処理剤 (袋)	粒子	29												
その 他	AED		6		1	1	1	1	1	1					
	消防車EMセット		7		1	1	2	1	1	1					

救急用資器材

観 察	血中酸素飽和度測定器		11	1	1	2	2	1	2	1	1			
	血中一酸化炭素測定器		3		1			1			1			
	血糖値測定器		7		1	1	1	1	1	1	1			
	患者監視装置		8	1	1	1	1	1	1	1	1			
呼 吸 ・ 循 環 管 理	自動式人工呼吸器	パラパック	3	1					1	1				
		アンサー	5		1	1	1	1			1			
	携帯酸素吸入器		14	1	1	3	3	1	3	1	1			
	自動式吸引器		9	1	1	1	2	1	1	1	1			
	呼気二酸化炭素検知器		8	1	1	1	1	1	1	1	1			
	除細動器	MRX	8	1	1	1	1	1	1	1	1			
	呼吸管理資器材	一式	11	1	1	3	2	1	1	1	1			
酸 素 ポ ン ベ	10ℓ	21	2	2	2	4	3	3	2	3				
	2.0ℓ	30	3	3	4	6	4	5	1	4				
保 創 護 傷	陰圧式固定具	バキュームスプリント等	8	1	1	1	1	1	1	1	1			
	外傷処置資器材	一式	11	1	1	2	3	1	1	1	1			
保 温 ・ 搬 送	ストレッチャー	メイン	8	1	1	1	1	1	1	1	1			
		エアー	14	2	1	2	2	2	2	1	2			
		スクープ	10	1	1	1	2	1	2	1	1			
	固定用担架	バックボード	19	2	2	2	2	3	2	3	2	1		
ショートボード		7		1	1	1	1	1	1	1				
通 信	携帯電話		7		1	1	1	1	1	1	1			
そ の 他	救急救命士特定行為資器材	一式	8	1	1	1	1	1	1	1	1			
	在宅医療継続用資器材	一式	6		1	1		1	1		2			

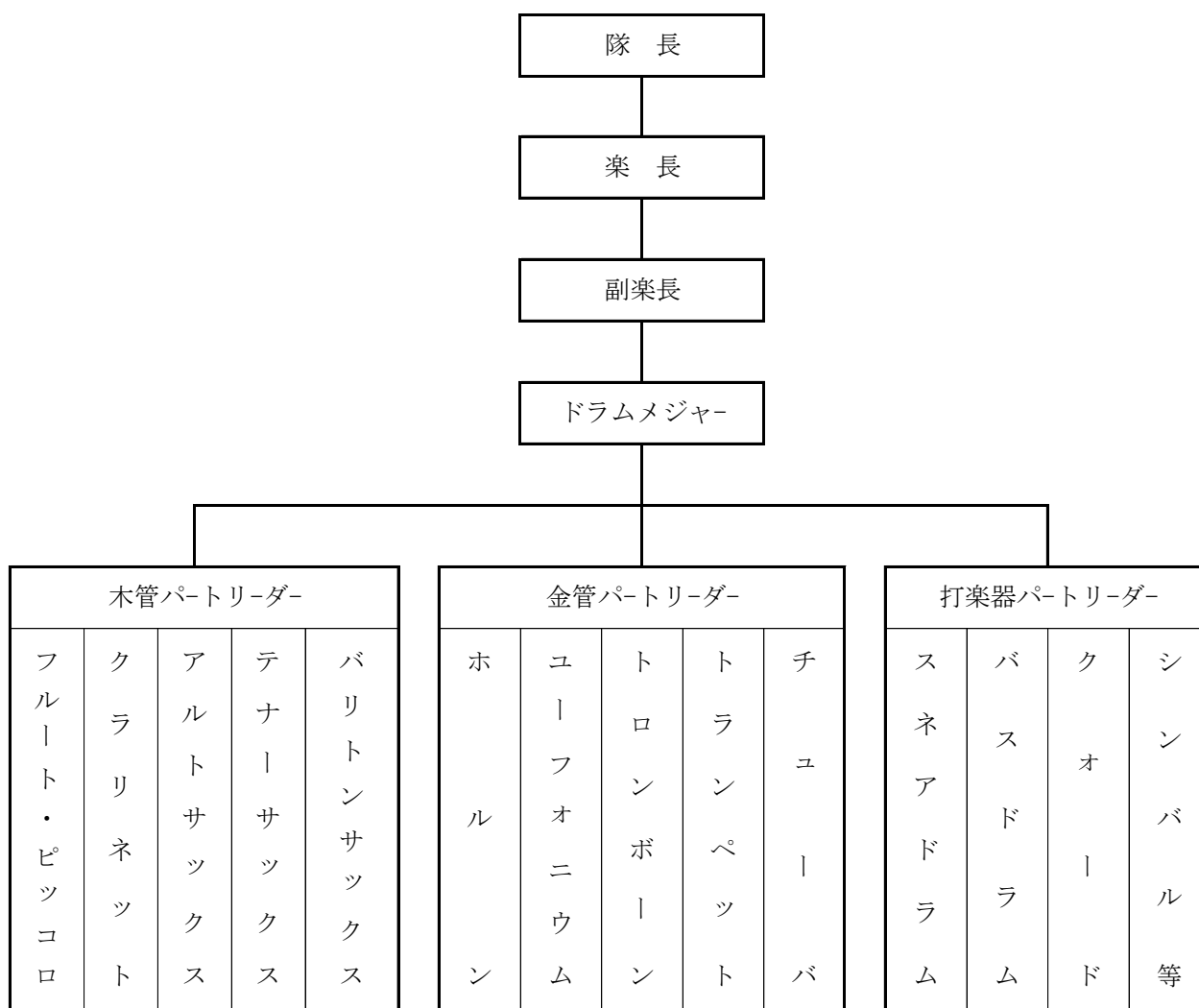
## 消防水利の状況

種 別 管轄別		消 火 栓			防 火 水 そ う				防 火 タン ク (30m <sup>3</sup> )			
		計	地上式	地下式	計	40m <sup>3</sup> 以上		20~40m <sup>3</sup> 未 満				
						有蓋	無蓋	有蓋		無蓋		
合 計		3,576	261	3,315	535	461	18	47	9			
白 山 市	松任地域	松任消防署	828	3	825	93	83	5	3	2		
		千代野分署	367		367	76	61	2	13			
	鶴来地域	鶴来消防署	629	250	379	36	20	9	5	2		
	美川地域	美川消防署	384	6	378	106	103		3			
	河内地域	白山消防署				27	23		3	1		
			吉野谷地域	5	1	4	43	36	2	2	3	
			鳥越地域				66	56		9	1	
			尾口地域				39	36		3		
	白峰地域	白峰分署				15	9		6			
野々市市	野々市消防署	1,363	1	1,362	34	34						

# 消防音楽隊

# 消防音楽隊

所属 \ 階級	合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	28	1		8	12	7	
消防本部	1	1					
松任消防署	12			3	7	2	
千代野分署	3			2		1	
野々市消防署	4			1	2	1	
鶴来消防署	3				1	2	
美川消防署	2				1	1	
白山消防署	3			2	1		
白峰分署							



## 活動状況

<div style="text-align: right;">区分</div> <div style="text-align: left;">隊名</div>	活動回数	活動内容				
		練習回数	派遣回数	派遣内訳		
				組合行事	構成市行事	その他
消 防 音 楽 隊	104	93	11	0	6	5

